

令和4年度当初予算案 主要事業取材メモ



©Sekiguchi

令和4年2月



目次

令和4年度予算編成にあたってのポイント	3
主な増減額（対前年度予算比）	3
令和4年度葛飾区当初予算案	4
令和4年度一般会計歳入歳出予算款別表	5
当初予算案の主な項目	6
【1】SDGsの推進	7
【2】DXの推進	8
【3】安全・安心なまちづくり	9
【4】区内交通の充実	16
【5】子育て・教育の充実	19
【6】観光・産業・文化振興	29
【7】健康・福祉の充実	38
【8】ゼロエミッションの実現	47
【9】公共施設の整備	51

令和4年度予算編成にあたってのポイント

- 新型コロナウイルスからの持ち直し期待により区税収入や特別区交付金など**歳入の増加を見込む**
- 一方、歳出面では、区民の安全・安心を守るための**小中学校の改築**や**市街地再開発**等による経費の増加、また、**ワクチン接種**や**企業支援**など**新型コロナ対策経費**を引き続き計上
- 予算編成にあたっては、災害対策、安全・安心なまちづくり、健康長寿、子育て支援・教育などに引き続き取り組むとともに、コロナ禍からの区民生活や地域経済の回復、さらなる賑わいの創出など、**将来にわたって持続可能で幸せに暮らし続けられる葛飾**とするための編成とした。
- 財政運営上も将来を見据え、新型コロナ対策経費には財政調整基金から繰入れを行うとともに、**将来世代の負担となる特別区債の代替として、積立基金の積極活用**による軽減に取り組んでいく。

主な増減額（対前年度当初予算比）

【歳入】

- 特別区税は、個人所得の増による特別区民税の増などにより 8億円の増
- 特別区交付金は、原資である市町村民税法人分の増収により 78億円の増
- 特別区債は、基金積立金からの繰入れで起債の代替とすることにより **△28.3億円の減**

【歳出】

- 環境費は、清掃関連施設建設経費など 15.9億円の増
- 衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種経費など 24.5億円の増
- 都市整備費は、街づくり事業経費など 25.4億円の増
- 教育費は、小・中合築校舎建設経費など 32億円の増

令和4年度葛飾区当初予算案

(単位:千円、%)

会計名	当初予算額		比較増減	
	令和4年度 A	令和3年度 B	金額 C(A-B)	率 C/B
一般会計	212,000,000	199,420,000	12,580,000	6.3
国民健康保険事業 特別会計	47,680,000	46,238,000	1,442,000	3.1
後期高齢者医療事 業特別会計	11,368,000	10,798,000	570,000	5.3
介護保険事業特別 会計	42,527,000	42,104,000	423,000	1.0
駐車場事業特別会 計	612,500	613,000	△500	△0.1
合計	314,187,500	299,173,000	15,014,500	5.0

〈参考〉本区一般会計当初予算の推移

(単位:億円、%)

年度	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度
規模	2,120	1,994	2,049	1,962	1,907	1,906
伸び率	6.3	△2.7	4.5	2.9	0.1	5.8

令和4年度 一般会計歳入歳出予算款別表

歳入

(単位：千円、%)

年度 款名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	構成比
1 特別区税	34,935,734	34,132,380	803,354	2.4	16.5
2 地方譲与税	704,000	674,000	30,000	4.5	0.3
3 利子割交付金	84,000	93,000	△ 9,000	△ 9.7	0.0
4 配当割交付金	568,000	472,000	96,000	20.3	0.3
5 株式等譲渡所得割交付金	600,000	318,000	282,000	88.7	0.3
6 地方消費税交付金	9,420,000	8,604,000	816,000	9.5	4.4
7 環境性能割交付金	181,000	155,000	26,000	16.8	0.1
8 地方特例交付金	497,000	516,000	△ 19,000	△ 3.7	0.2
9 特別区交付金	75,300,000	67,500,000	7,800,000	11.6	35.5
10 交通安全対策特別交付金	16,000	43,000	3,000	7.0	0.0
11 分担金及び負担金	1,475,476	1,576,426	△ 100,950	△ 6.4	0.7
12 使用料及び手数料	3,066,551	2,876,491	190,063	6.6	1.4
13 国庫支出金	45,204,583	41,438,703	3,765,880	9.1	21.3
14 都支出金	16,796,455	16,129,679	666,776	4.1	7.9
15 財源収入	280,059	270,483	9,576	3.5	0.1
16 寄附金	35,082	88,868	△ 53,786	△ 60.5	0.0
17 繰入金	15,794,625	15,786,057	8,568	0.1	7.5
18 繰越金	2,000,000	2,000,000	0	0.0	0.9
19 諸収入	5,011,432	3,910,913	1,100,519	28.1	2.4
○ 特別区債	0	2,835,000	△ 2,835,000	△ 100.0	0.0
歳入合計	212,000,000	199,420,000	12,580,000	6.3	100.0

歳出

(単位：千円、%)

年度 款名	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率	構成比
1 議会費	585,372	582,479	2,893	0.5	0.3
2 総務費	19,885,219	18,271,637	1,613,582	8.8	9.4
3 環境費	7,554,211	5,966,420	1,587,791	26.6	3.6
4 福祉費	82,427,149	81,571,877	855,272	1.0	38.9
5 衛生費	8,300,428	5,852,329	2,448,099	41.8	3.9
6 産業経済費	4,804,246	5,014,661	△ 210,415	△ 4.2	2.3
7 都市整備費	17,100,827	14,559,348	2,541,479	17.5	8.1
8 教育費	26,311,735	23,111,365	3,200,370	13.8	12.4
9 職員費	25,315,075	25,421,571	△ 106,496	△ 0.4	11.9
10 公債費	1,161,344	1,157,685	3,659	0.3	0.5
11 諸支出金	18,254,394	17,610,628	643,766	3.7	8.6
12 予備費	300,000	300,000	0	0.0	0.1
歳出合計	212,000,000	199,420,000	12,580,000	6.3	100.0

当初予算案の主な項目

葛飾区は区民・地域団体・事業者などの多様な主体と連携し、協働しながらSDGsが目指す経済・社会・環境の全ての面における発展に向けた取り組みを進めます。

(仮称)葛飾区SDGs推進計画の策定

SDGs推進担当課

予算額:33百万円

SDGsの実現に向けた取り組みを具体的かつ積極的に推進していくために、本年1月に新たな部署を設置いたしました。

今後、本区の経済・社会・環境の全ての面における発展に向けて、全区的な取り組みを推進していくため、「(仮称)葛飾区SDGs推進計画」を策定します。

この計画では、本区の持続可能な発展に向けてさらに取り組みを進めるべき重要な課題について、スマートシティの実現等の視点から総合的な解決を図る「(仮称)SDGsかつしか未来プロジェクト」を掲げます。また、SDGsの各ゴールの達成に向けた具体的な取り組みの方向性についても示しながら、区民・事業者などの多様な主体との協働を進め、子や孫の世代も幸せを感じながら住み続けられる「持続可能な葛飾」を実現していきます。

葛飾区のSDGs関連トピックス

令和2年2月	ゼロエミッションかつしか宣言
令和3年1月	日本経済新聞社の「第2回SDGs先進度調査」にて、全国815自治体中3位に
令和3年2月	SDGs推進本部設置
令和3年10月	葛飾区自治町会連合会SDGs宣言
令和4年1月	SDGsを推進する新部署を設置

区内事業所等によるSDGs関連活動の促進

区内事業所・団体等に対し「SDGs宣言」(取組事例)を募集し、広く発信することでPRにつなげるとともに、SDGsに関する活動を促進していきます。「SDGs宣言」の応募事業者には登録証を発行し、取組状況や今後の目標、区への要望等のアンケート調査を行うことで、持続可能な経営や新規事業の創出にも結び付けていきます。



(関係機関の確認をとったものではありません)

産業経済課
商工振興課
観光課

予算額:0.3百万円

デジタル技術を活用した取組の推進

葛飾区は令和3年10月に「葛飾区デジタル推進計画2021」を策定しました。本計画を基に、DXの視点から区民サービスの向上と効率的な行政運営の実現に取り組むとともに、地域社会の様々な分野においてデジタル化が進み、だれもがデジタル技術の恩恵を享受できる社会の実現を目指します。

○窓口手数料等へのキャッシュレス決済の導入（11,071千円）

現金払いのみの取り扱いとなっている窓口での手数料等において、電子マネーやクレジットカード、スマートフォンアプリと連動したコード決済によるキャッシュレス決済を導入します。

対象窓口：戸籍住民課、区民事務所、税務課、にこわ新小岩

○ノーコードツールの運用（2,779千円）

ノーコードツールとは、プログラミング等の専門的な知識や経験がなくても申請受付や集計等のシステムを簡易に作成することができるシステム開発ツールです。区でも、ノーコードツールを導入し、オンライン申請受付やオンライン予約、内部管理業務のデジタル化を一層進めていきます。さらに、ノーコードツールを活用する研修についても実施していきます。

【ノーコードツールの活用例】

アンケート パブリック・コメントや 利用者アンケートの電子化	内部業務 庁内アンケート、 紙資料のデジタル化	行政手続 申請や届出などの 手続オンライン化
---	--------------------------------------	-------------------------------------

ノーコードツールで区民の利便性向上や行政運営の効率化を実現！

OLINE公式アカウント運用開始（1,390千円）

ソーシャルネットワークサービスの一つであるLINEは、スマートフォン上でのコミュニケーションツールとして多くの方が広く日常的に利用しています。区でも情報発信や申請受付等のツールの一つとしてLINE公式アカウントの運用を開始し、オンラインによる区民サービスの利便性向上を図ります。

○地域活動デジタル化支援（900千円）

地域で行われている様々な活動においてもオンラインの活用などデジタル化へのニーズが高まっていることから、地域活動のデジタル化支援に取り組みます。

【出前型デジタル活用支援講座】

対象	区内在住・在勤・在学の10人以上の団体・グループ
事業内容	スマートフォンの活用支援や地域活動へのデジタル技術の導入に関する相談など、ニーズに応じた支援講座を地域に出向いて行います。

【地域活動団体デジタル化助成】

対象	公益の増進に寄与し、営利を目的とせず地域貢献活動を行う団体
対象事業	情報共有アプリの導入やオンライン配信環境の整備など、対象団体が行うデジタル化に向けた取組 例：Wi-Fiルーターの調達、情報共有アプリ等の導入
補助率	対象経費の1/2 (1団体あたり上限7万5千円まで)

水害対策の強化

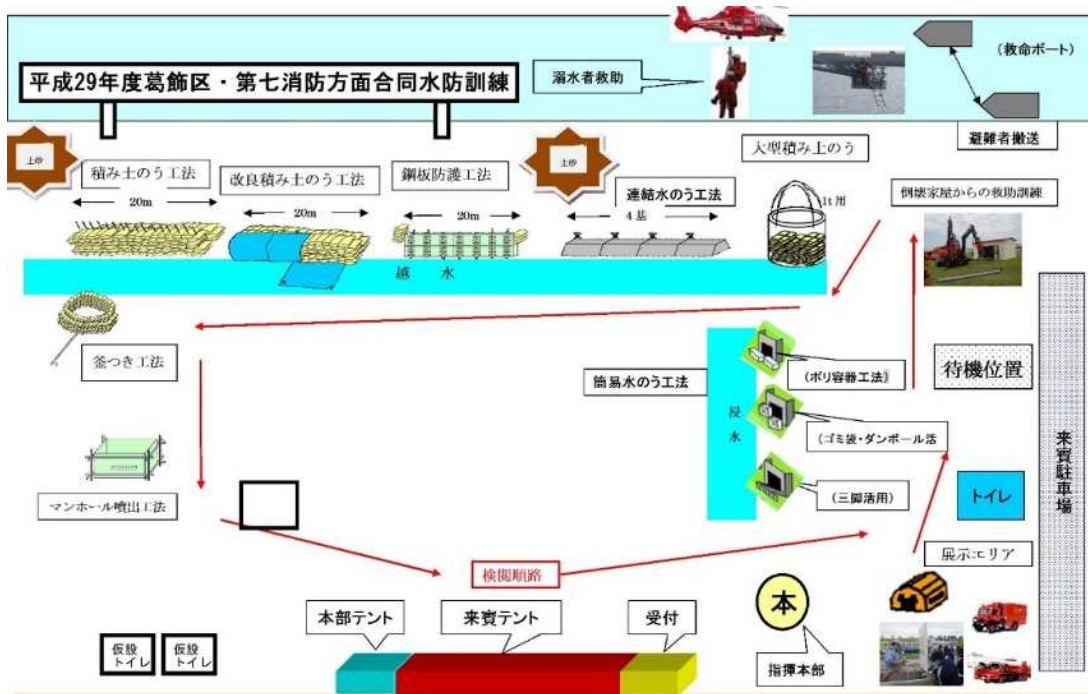
京成本線荒川橋梁部の水害に備えて

令和元年度東日本台風を契機に、区では令和2年度から改めて京成本線荒川橋梁部堤防の水害対策の強化に取り組んできました。令和4年度は、5年ぶりとなる第七消防方面本部合同水防訓練を実施します。また、その合同水防訓練に向け、京成電鉄と葛飾区で、実際の線路上に昨年設置されたコンクリート製擁壁（パラペット）と止水板を連結・設置する夜間の水防訓練も実施します。

調整課
 （京成本線荒川橋梁部の水害に備えた水防訓練）
 都市計画課
 （浸水対応型市街地構想について）
 危機管理課
 （大規模水害に備えた区民への啓発）

予算額
 水防訓練：4.8百万円
 浸水対応型市街地構想：12百万円

参考：平成29年度に実施した第七消防方面本部合同水防訓練実施概要図



パラペットに連結させる止水板

第七消防方面本部について

東京の下町といわれる墨田区、江東区、葛飾区、江戸川区を管轄し、本所・向島・深川・城東・本田・金町・江戸川・葛西・小岩の9消防署、1分署、26出張所があります。

浸水対応型市街地構想の実現に向けて

大型台風の恒常化等、今後確実に増大する水害リスクに備えて、本区では「治水対策」や「広域避難対策」に取り組んでいます。一方で、仮に区民の25%が広域避難し、区内に留まった区民が垂直避難すると想定した場合、最寄りの公共公益施設の収容力だけでは限界があるため、これまでの対策に加えて学校施設の浸水対応化などを実現する「浸水対応型市街地構想」の実現に向けた取組を三位一体として進めていきます。

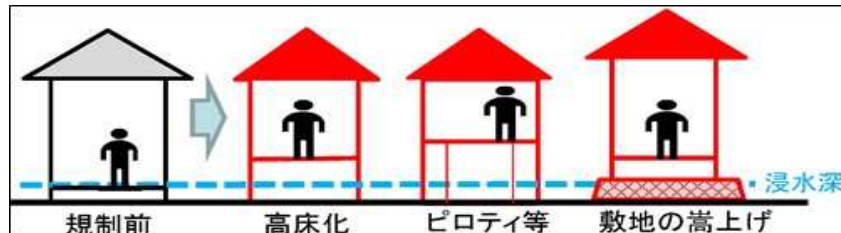
1 浸水対応型拠点建築物等普及事業補助金（5,850千円）

民間施設の浸水対応型拠点建築物化を誘導するため、浸水対策として設備等を整備する中高層集合住宅及び商業施設に対する補助を行います。

2 住宅浸水対応促進施策調査研究委託（6,021千円）

浸水対応型市街地構想の実現に向けて、自宅の浸水を防ぎ、垂直避難が可能な住宅の整備検討を推進するための基礎調査を実施します。

(例) ● 地区単位での浸水対策の検討



(現状)



浸水対応型市街地イメージ

大規模水害に備えた区民への啓発

東部低地帯にある葛飾区では、大規模な水害が発生した場合、区内のほぼ全域にわたり大きな被害を及ぼすことが想定されています。区では、水害ハザードマップ等を活用し、大規模水害時の避難行動について区民に周知しています。令和3年度末までには、区を三地域に分け、地域ごとの特徴を踏まえた「葛飾区水害避難ガイド」を作成し、来年度以降、自治町会に配布するほか、水害ハザードマップ説明会などで活用していきます。

	実施回数	実施場所
令和2年度	6回	亀有、堀切、青戸、金町、新小岩北の各地区センター、水元学び交流館
令和3年度	7回	四つ木、東立石、高砂、金町、堀切、新小岩、東四つ木の各地区センター



新たな清掃事務所内に建設予定の中継棟に 備蓄倉庫を併設します！

P.49

**【ZEB Ready 認証を取得した
新たな清掃事務所の整備を進めます！】**
に詳細

清掃事務所、新宿分室、奥戸分室、区内で集めた燃やさないごみ等の積み替えを行う葛飾中継所（奥戸分室と併設）の4施設を、奥戸分室と葛飾中継所の敷地へ集約し、新たな清掃事務所の整備を進めます。

ごみの分別、中継施設である中継棟には、災害時の物資運搬を円滑にするための備蓄倉庫を併設します。



△完成予想図

※完成予想図については想定であり、一部変更する可能性があります。

1人でも多くの傷病者を救う体制を構築します！

災害医療体制の更なる強化

《担当部署》
地域保健課
《予算額》25百万円

大規模災害時、より迅速かつ適切な医療救護活動を行えるよう、「葛飾区災害医療救護計画」を改定し、**区内を災害拠点病院を中心とした4ブロックに分ける面的整備**を行います。これにより、災害医療における地域連携を強化し、一人でも多くの傷病者を救える体制を目指します。

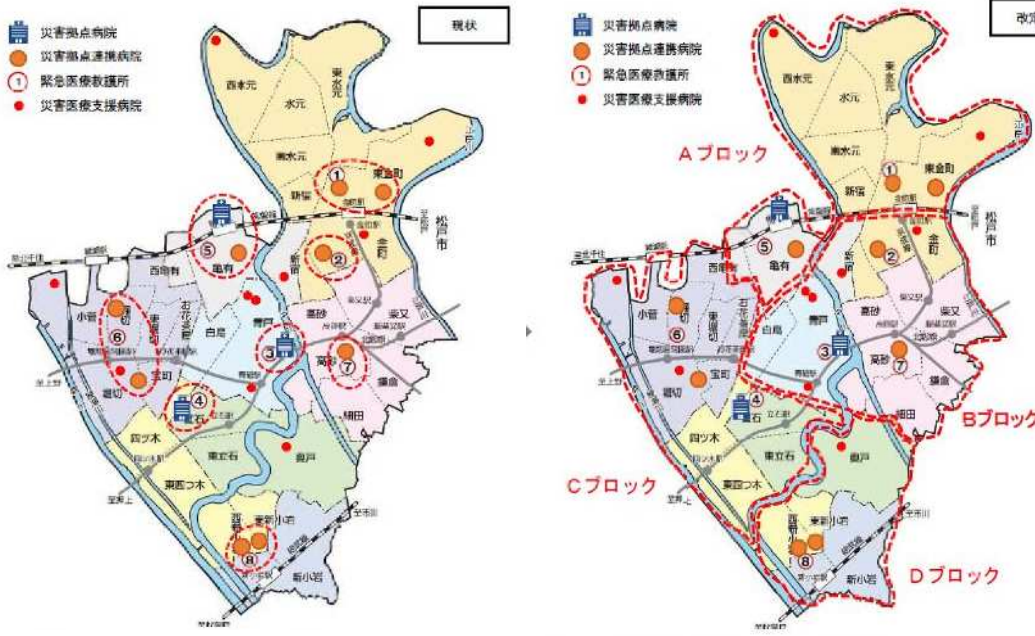
また、計画改定に伴い、各種災害医療コーディネーターを新規設置し、必要な医療資器材の見直しや助成を行うことで、新しい災害医療体制を構築します。

【現行の計画における体制】

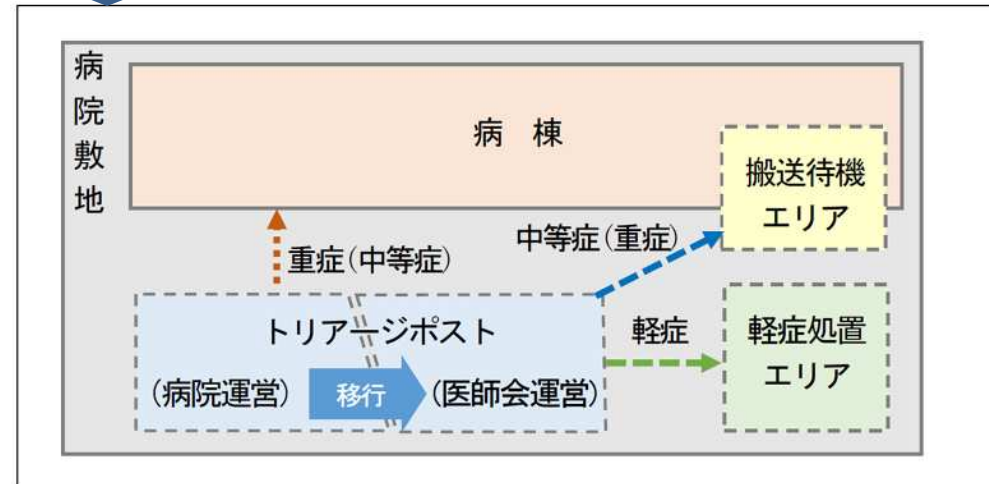
緊急医療救護所（区内8か所の小・中学校）が傷病者を受け入れ、中～重症者を近隣の災害拠点病院、災害拠点連携病院へ搬送

【計画改定後の体制】

・区内を災害拠点病院を中心とした、4つのブロック体制に分ける面的整備を行い、地域で連携した災害医療の更なる充実を図る
・緊急医療救護所を可能な限り病院前に設置し、傷病の程度によって、ブロック内で役割分担をより明確化して対応



面的整備のブロック案



病院前に緊急医療救護所を設置した場合の運用イメージ

1 各種災害医療コーディネーターの新規設置(3,497千円)

現在設置している「災害医療コーディネーター」に加え、「歯科医療コーディネーター」、「災害薬事コーディネーター」、「病院薬事コーディネーター」を新規設置し、さらなる災害医療体制の強化を図ります。

【各種災害医療コーディネーターの役割】

各種災害医療コーディネーターは、歯科医師会、薬剤師会及び病院薬剤師における代表者であり、各師会などの災害体制や情報について、取りまとめを行うとともに、それぞれの立場において、災害医療コーディネーターに助言等を行います。

2 医療資器材管理(20,403千円)

(1) 緊急医療救護所における備蓄品の見直し

「蘇生セット」「熱傷セット」などの備蓄品について、軽症者対応を主とした内容に見直しを行います。

(2) 病院における災害医療用資器材の購入費助成

災害拠点病院等において、傷病者の対応を行う際に使用する医療資器材の補助について、次年度はモデル実施します。

補助対象	上限額等
災害拠点病院	1か所あたり50万円を上限として、2か所まで
災害拠点連携病院	1か所あたり30万円を上限として、1か所まで
歯科医療救護所	1か所あたり10万円を上限として、8か所まで

安全・安心なまちづくりの実現

金町街づくり担当課
立石駅北街づくり担当課
立石駅南街づくり担当課
新小岩街づくり担当課

金町駅周辺のまちづくり

予算額:2,859百万円

東金町一丁目西地区市街地再開発事業では、権利変換計画認可後、商業施設や自動車教習所を整備する第Ⅰ期工事に着工します。金町駅北口周辺地区では、令和4年度末に理科大学通り及びしょうぶ通りの道路拡幅と北口駅前広場の拡張に係る都市計画決定を目指し、安全・安心に利用者が移動できる環境の構築を図ります。また、地域住民や事業者が主体となって地域の価値を高めるエリアマネジメントの推進、運営組織の法人化に向けた検討を引き続き行います。

東金町一丁目西地区市街地再開発事業

スケジュール

- 令和3年度：再開発組合発足
- 令和4年度：権利変換計画認可（予定）
第Ⅰ期工事着工（10月予定）
- 令和7年度：第Ⅰ期工事竣工（予定）
- 令和8年度：第Ⅱ期工事着工（予定）
- 令和12年度：第Ⅱ期工事竣工（予定）



東金町一丁目西地区市街地再開発事業:完成イメージ

北口周辺地区基盤整備事業

スケジュール

- 令和4年度末:都市計画決定（予定）
- 令和5年度以降：関係者・関係機関との
協議・交渉～事業実施（予定）



金町駅北口駅前広場完成イメージ

立石駅周辺のまちづくり

予算額:1,400百万円

新小岩駅周辺のまちづくり

予算額:600百万円

立石駅周辺では、災害に強く、安全・安心に住み続けられる魅力あるまちを目指して、市街地再開発事業による街づくりを進めています。また、再開発事業と併せて地域住民や事業者が主体となって地域の価値を高めるエリアマネジメントの検討を進めていきます。

立石駅北口地区市街地再開発事業では、建物や道路の設計を進めており、令和4年度の権利変換計画認可を目指します。

立石駅北口地区市街地再開発事業

スケジュール

- 令和3年度：再開発組合発足
- 令和4年度：権利変換計画認可（予定）
- 令和5年度：建築工事着工（予定）
- 令和10年度：建築工事竣工（予定）



立石駅北口地区：交通広場完成イメージ
(立石駅から)

新小岩駅周辺では、広場や自転車駐車場、南北自由通路の整備、市街地再開発の事業化支援、エリアマネジメント検討組織設立の支援等により、駅周辺の一体的なまちづくりを推進していきます。

新小岩駅南口地区再開発事業では、市街地再開発の事業化に向け、令和4年度の組合設立・事業認可を予定しています。

新小岩駅南口地区再開発事業

スケジュール

- 令和3年度：都市計画決定
- 令和4年度：再開発組合発足（予定）
- 令和5年度：権利変換計画認可（予定）
- 令和6年度：建築工事着工（予定）
- 令和10年度：建築工事竣工（予定）



新小岩駅南口地区再開発事業完成イメージ
(平和橋通りから)

ホームドア整備費助成を充実させ、 駅利用者の安全安心を守ります

すべての人が安心して安全に移動できるまちづくりを実現するため、区ではホームドア整備を行う鉄道事業者に対し、費用の一部を助成してきました。このたび、区が重ねて要望をしてきた J R 各駅(亀有駅、金町駅、新小岩駅)でのホームドア整備の見通しが立ったことを受け、区としても整備に向けた協議を進めるとともに、鉄道事業者が今後さらに積極的に取り組めるように区補助要綱を改正し、**国庫補助採択を条件とした交付要件の見直しと区補助額の増額を行います。**

現行

鉄道事業者が国庫補助を受けることが条件

→1日あたりの利用者数10万人以上を目安とする国庫補助を受けることが条件となっているが、区内には利用者数が10万人に満たない駅も多い。

区補助金は対象経費の1/3・上限6000万円
(ホームドア1列につき)



令和3年度中に改正

改正後

鉄道事業者が国庫補助を受けることの条件を撤廃、**1日当たりの利用者数が10万人未満の駅でも区の補助が受けられるように**

区補助金の上限を8000万円に引き上げ
(ホームドア1列につき)

【今後の予定】

JR亀有駅、JR金町駅、JR新小岩駅のホームドア整備にかかる補助金を、令和4年度から5年度にかけての債務負担行為で予算計上し、J R 東日本からの申請に基づき交付します。



スマートホームドア®(常磐(各駅停車)線 馬橋駅)

東日本旅客鉄道(株)から提供
スマートホームドア®は
JR東日本メカトロニクス(株)の登録商標です。

新金貨物線の旅客化を進めています

交通政策課

予算額:28百万円

脱炭素化の潮流や少子高齢化による人口減少社会を見据え、南北方向の鉄道網の整備や区全体の活性化を図るため、区の南北の拠点である新小岩と金町を結ぶ新金貨物線の旅客化の実現に向けて取り組んでいます。令和4年度は、JR東日本や京成電鉄、国土交通省、東京都などの関係機関による検討会を発足させるとともに、早期に旅客化を実現させるため、国道6号線以南の（仮）新宿駅～新小岩駅区間について令和12年頃の開業を目指し検討を促進していきます。また、国道6号との交差方法についても検討していきます。

令和4年度検討内容

● 関係機関による検討会の運営

・JR東日本や京成電鉄、国土交通省、東京都などの関係機関による検討会を発足させ、検討を促進していきます

● 段階整備区間の検討

・段階整備区間における、事業主体及び事業スキーム、駅位置や駅構造、踏切への影響や車両基地等の検討を行います。

● 国道6号との交差方法の検討

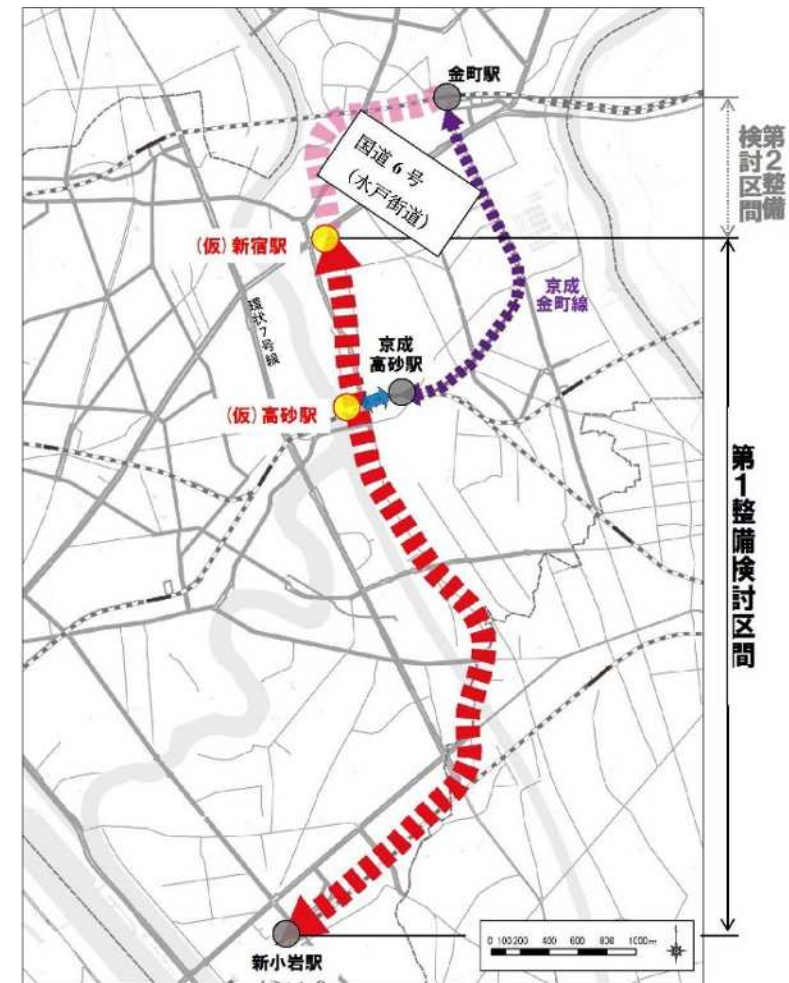
・国道6号との交差方法について検討していきます。

新金貨物線旅客化整備基金について

平成30年度の調査検討において、旅客化に必要な駅や信号、車両等を新設する概算事業費が200億～250億と試算しています。今後、国費の投入等を考慮した概ね50%程度の約100億円となるよう、積み立てていく予定です。

基金の積み立て状況

令和3年度末基金残高：30億円（見込み）



△段階整備のイメージ

バス交通の充実を進めます

区内のバス交通の利便性向上を図るため、「葛飾区公共交通網整備方針」に基づき、循環バスの導入や既存路線の再編、バス利用者用駐輪場の整備、上屋・ベンチ・バスロケーション表示機などのバス停利便施設の整備費助成を進めます。

また、持続可能なバス交通ネットワークの構築を目指し、多様な交通システムの導入についても検討を進めます。

1 区内循環バス路線検討等 (10,176千円)

運行経路の一部が重複し、利用者・便数が減少している有70・71・74系統のバス路線について、アンケート調査などによる地域住民の意見をもとに検討した路線再編に向けて、地域説明や関係機関との協議を進めます。

また、東立石地区でデモ走行を実施したグリーンスローモビリティの活用について、地域住民が利用したくなる運行ルートの実現を支援するなど、地域住民が自ら車両を運行する取組の導入に向けて、検討を進めます。

2 バス利用者用駐輪場整備工事等 (1,508千円)

バス利用者が利用できる駐輪場については、これまで整備してきた駐輪場の利用状況を分析したうえで、整備効果の期待できるバス停を選定・整備し、さらなるバス交通の利便性向上を図ります。

3 バス利便施設整備費助成 (3,681千円)

バス待ち環境の改善につながるバス停の利便施設である上屋やベンチ、バスロケーション表示機を整備するバス事業者に対して整備費の一部を助成し、区内バス停環境の向上を図ります。



△バス利用者駐輪場「水元5丁目」

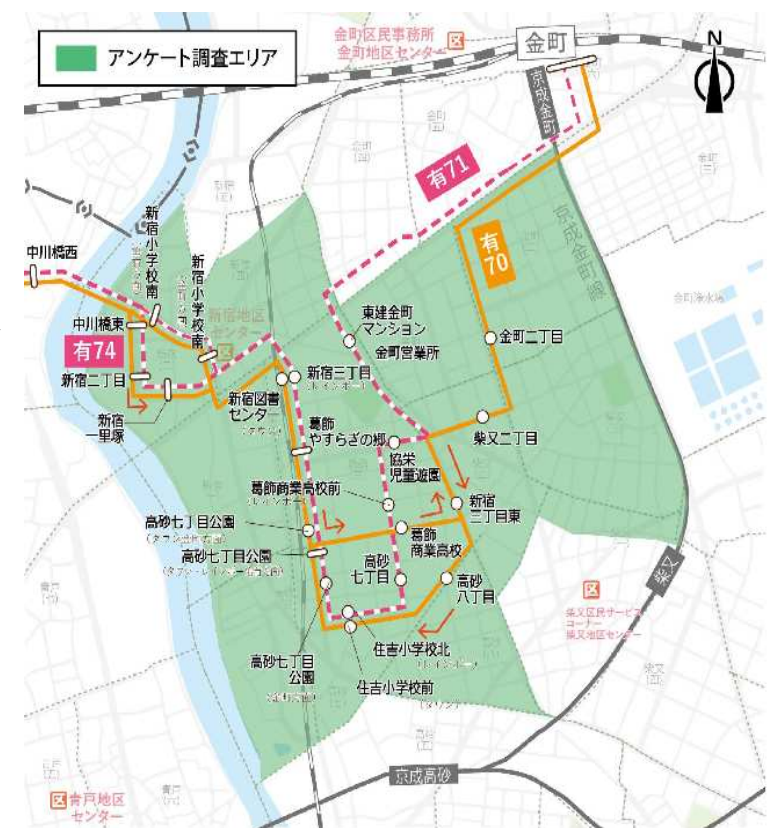


△バス停下屋



△バス停ベンチ

路線再編案を検討している有70・71・74



自転車利用環境の充実を図ります

交通安全対策担当課
道路補修課

予算額:24百万円

本区は多くの区民が通勤や通学、買い物などに自転車を利用していることから、今後も自転車の安全かつ快適な活用を図るとともに、歩行者・自転車の安全を確保します。また、自転車利用者は都の条例により自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられていることから、本区でも区民の自転車保険の加入を促進するため区民交通傷害保険事業を開始します。

1 シェアサイクルの社会実験を実施

公共交通の補完や観光振興が期待されるシェアサイクルの普及促進を図ります。令和4年度は、民間企業との共同による社会実験を実施し、駅周辺等の区有地を中心にサイクルポートを設置し、利用実態の把握やニーズ調査を行います。

実施内容（案）

時期：令和4年夏頃実施予定

設置場所：駅周辺の区営駐輪場等を想定

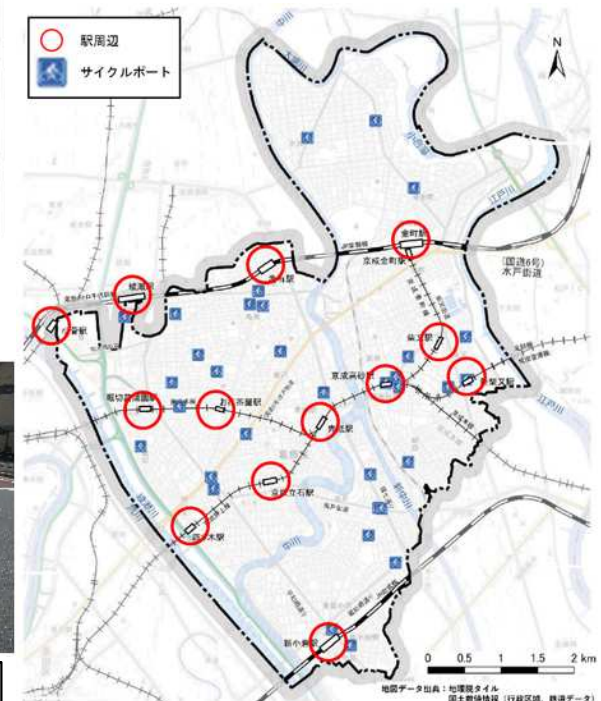
（参考 ～ 令和4年1月末現在）

区内で民間企業が実施しているシェアサイクルの利用料金：70円/15分

駅前のシェアサイクルポート



区内の駅の位置及び民間企業による
サイクルポート整備状況



自転車ナビマーク・ナビライン



白いマーク：自転車ナビマーク
青い矢印：自転車ナビライン

（サイクルポートは令和2年度末時点）

2 自転車ナビマーク・ナビラインの設置(23,900千円)

自転車だけでなく歩行者の安全にも配慮し、自転車の車道通行を基本とした通行空間の整備を進めます。葛飾区自転車活用推進計画に基づき、令和4年度から10年かけて、区道約20kmに自転車の通行位置・方向を示す自転車ナビマーク・ナビラインの設置を計画しています。令和4年度は、青砥駅-葛飾区役所-お花茶屋駅間約2kmに設置します。

3 区民交通傷害保険事業の開始（408千円）

自転車を利用する区民に対して、自転車事故への備えを促すため、少額の保険料で加入できる区民交通傷害保険事業を開始します。

保険期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（1年更新）

申込資格：令和4年4月1日時点で、葛飾区にお住まいの方、在勤、在学者

保障プラン：7つのコース（交通傷害補償35万円～600万+自転車賠償責任1億円）※自転車賠償責任なしのコースあり

私立幼稚園・認定こども園の 保育料助成の増額・入園料補助の対象拡大

独
自

子育て支援課

予算額:1,374百万円

子育て世帯の幼児教育・保育に関する経費負担を軽減するために、すでに区独自で行っている保育料助成について増額します。また、区独自で補助している入園料補助対象を、全私立幼稚園・認定こども園に拡大します。葛飾区で子育てする世帯の支援を充実させ、教育・保育サービスを、各家庭のニーズに応じて選択できる豊かな幼児期を支える環境づくりを後押しします。

【保育料助成の増額】

従来型幼稚園、新制度幼稚園・認定こども園：助成額を1人につき2,000円/月増

現在は従来型幼稚園、新制度幼稚園・認定こども園
いずれも1人あたり最大5,300円/月の助成
↓
来年度からは1人あたり最大**7,300円/月**の補助に！

【入園料補助】

現在は従来型幼稚園のみが対象：8万円

令和4年度からは新制度幼稚園・認定こども園も対象とし、8万円を補助します。

私立幼稚園・認定こども園での 預かり保育の拡大

独
自

子育て支援課

予算額:245百万円

私立幼稚園・認定こども園で実施している預かり保育において、三季（春・夏・冬）休業中の保育を拡大し、より利用しやすくなるようにしていきます。

令和4年度は条件をもとに増額助成をし、実施日数を増やせるようにします。

【対象施設】 私立幼稚園又は認定こども園
【増額助成条件】 夏季休業日25日以上の実施
【増額額】 1園あたり200万円/年

※現在、29園中12園が夏季休業日
25日以上の子育て支援を実施しています！



私立幼稚園への宿舍借上費用・住宅手当・事務職員配置費用助成

独自

子育て支援課

予算額:115百万円

認可保育園や認定こども園を対象にすでに行っている、保育士等の宿舍借上費用助成、住宅手当扶助、教育・保育施設の事務職員配置費用の助成について、区が独自に私立幼稚園にも対象を拡大し、助成します。

区内の幼児教育・保育施設への支援を充実させ、幼児教育・保育の質を向上させることで、葛飾区の子どもの豊かな育ちと小学校進学へのスムーズな連携につなげていきます。

- (1) 宿舍借上費用助成 : 補助上限額82,000円/月 補助率 7 / 8
- (2) 住宅手当扶助 : 10,000円/月
- (3) 事務職員配置費用助成 : 1園あたり101,620円/月

保育所等の整備

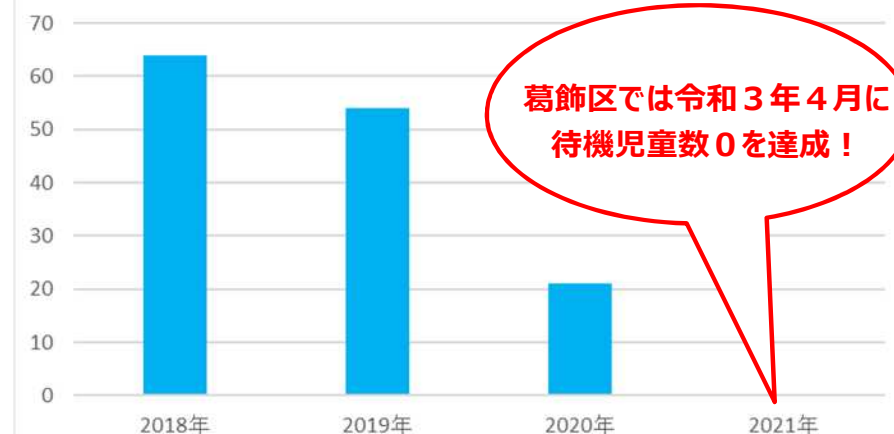
子育て支援整備担当課

予算額:829百万円

保育の受け皿を確保し、年間を通して利用しやすく、安心して子どもを預けることができるよう、幼児教育と保育の多様なニーズに対応していきます。人口動態及び保育需要を踏まえながら、既存施設を活用するなど様々な工夫を重ね、整備を計画する民間事業者に対して施設整備費の一部を助成します。

令和4年度は(仮称)西亀有三丁目保育園(区立西亀有保育園の民設民営化)、(仮称)水元三丁目認定こども園(そあ保育園の幼保連携型認定こども園化)、(仮称)四つ木一丁目認定こども園(明昭幼稚園の幼保連携型認定こども園化)を整備し、いずれも令和5年4月の開設を目指します。その他、令和6年4月開設に向け、認定こども園葛飾みどりの施設老朽化に伴う建替えを行います。

葛飾区内の待機児童数の推移(人)



※各年4月1日時点の待機児童数

葛飾区児童相談所の開設に向けて

児童相談所開設準備室

予算額:565百万円

令和5年10月の葛飾区児童相談所・一時保護所の開設に向け、準備を進めています。
区民に寄り添う支援を担う子ども総合センターと、子どもの安全確保など法に基づく専門的な支援を担う児童相談所・一時保護所が両輪となって、子どもの最善の利益を確保する体制を構築します。

【建物概要】

建設予定地：立石二丁目179番1、2号
敷地面積：2,177.93平方メートル
構造：鉄骨造 地上4階建

【スケジュール】

令和3年度 設計、建築工事契約（12月）、着工
令和4年度 本体工事
令和5年度 竣工（6月）、開設予定（10月）



△外観パース



多胎児家庭を応援します！

多胎児家庭支援の拡大

《担当部署》

〈多胎妊婦に対する妊娠子育て応援券の上乗せ交付〉

青戸保健センター

〈多胎妊婦に対する妊婦健康診査費用助成〉

子ども家庭支援課

多胎児家庭に対し、家事支援や外出時の補助に加え、全国の百貨店・おもちゃ店などで利用できる1万円分の商品券「**妊娠子育て応援券**」の上乗せ交付を行うとともに、**多胎妊婦に対する妊婦健康診査費用の助成拡大**を行い、多胎児家庭の負担軽減を図ります。

1 多胎妊婦に対する妊娠子育て応援券の上乗せ交付(1,022千円)

(1) 内容

従来、保健師や助産師との「ゆりかご面接」を受けた妊婦一人当たり、妊娠子育て応援券(1万円分)を交付していますが、多胎児家庭を支援するため、多胎妊婦の方には、**胎児一人当たり1万円分を交付**します。

(2) 対象

葛飾区に住民登録があり、母子手帳の交付を受けた多胎妊婦で、令和4年4月1日以降に「ゆりかご面接」を受けた方



妊娠子育て応援券

2 多胎妊婦に対する妊婦健康診査費用助成(491千円)

(1) 内容

多胎妊婦は、単胎の場合(14回程度)より頻回の妊婦健康診査が推奨されているため、**通常の14回を超えて受診する場合に、その費用を助成**することにより、負担軽減を図ります。

(2) 対象

葛飾区に住民登録がある多胎妊婦が令和4年4月1日以降に受診した妊婦健康診査

(3) 助成額

妊婦健康診査1回につき5,070円を限度に助成

(4) 助成回数

妊婦一人当たり5回を限度(15回目から19回目まで)



3歳児健康診査における視力検査の充実

《担当部署》
 青戸保健センター
 子ども家庭支援課
 《予算額》12百万円

3歳児健康診査において、絵視標を使った視力検査に加え、フォトスクリーナーによる「屈折検査」を導入し、子どもの視覚異常を早期に発見し適切な治療につなげます。

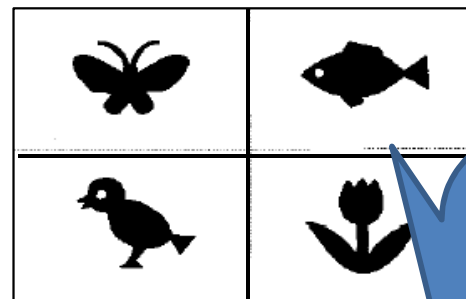
1 実施時期 令和4年10月の3歳児健康診査から

2 実施場所

区内4か所の保健センター(青戸、新小岩、金町、水元)、子ども未来プラザ鎌倉、南綾瀬地区センターにおける、3歳児健康診査会場

3歳児健康診査における弱視発見率等

年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	弱視発見者数	弱視発見率(%)
平成30年度	3,840	3,542	92.2	22	0.6
令和元年度	3,560	3,210	90.2	12	0.4
令和2年度	3,912	3,571	91.3	10	0.3



絵視標を使った検査は、精度に限界があります。すでにフォトスクリーナーを導入している自治体では、弱視発見率が2~3%を超える例もあり、絵視標による検査と組み合わせることで、発見率の向上が見込めます。



23区初！

予算額:91百万円

子どもたちの水泳授業の充実に向けて

学校外の屋内温水プールの活用を進めます

【学校施設に関すること】
学校施設担当課
【水泳指導の内容に関すること】
指導室

子どもたちの水泳授業は、水泳運動の楽しさに触れ、基本的な水泳技術の習得を図る、大切な取り組みです。しかしながら、近年では雨天や猛暑などの影響により、計画的な実施が難しくなっています。

そのため区では、「今後の水泳指導の実施方法に関する方針」を策定し、区立小学校は**令和4年度から順次、区立の奥戸・水元総合スポーツセンターや民間の屋内温水プールを利用して**、1年の中で計画的に水泳指導を実施していきます。

今後、区立小学校が学校改築を行う場合にはプールを設置せず、学校外の屋内温水プールでの授業に順次、移行していきます。改築校以外の小学校も、できる限り早く屋内温水プールでの授業に移行していきます。

すべての区立小学校で学校外の屋内温水プールを活用した水泳指導を実施していく方針を進めていくのは、23区初の取り組みです。

屋内温水プールを活用する主な利点



天候に左右されず、1年の中で計画的に水泳指導ができます。



教員の全体的な管理の下、複数のインストラクターが指導の補助に加わることで、子どもたちの泳力に合わせた、きめ細かな指導を受けることができます。



外部からの視線や日焼けなどを気にせず授業を受けることができます。

令和3年11月に策定した実施計画（屋内温水プールへの移行計画と受入体制の整備）

令和4年度は、道上小学校や水元小学校など12校が屋内温水プールを活用した水泳指導を実施します。毎年数校ずつ移行を進め、**令和10年度には計40校が移行予定です。**

○令和4年度から移行する学校（8校）

道上小、水元小、奥戸小、白鳥小、南奥戸小
東綾瀬小、飯塚小、細田小

○試行などで実施する学校（4校）

二上小、よつぎ小、四ツ木中、西小菅小

【移行スケジュール】

年度(令和)	4	5	6	7	8	9	10
学校の移行想定数(校数)	8	5	6	5	5	6	5
累計(校数)	8	13	19	24	29	35	40



屋内温水プールでの授業の様子を動画にしています



奥戸と水元にある2つの区立総合スポーツセンターのほか、水泳指導に活用が見込める区内の民間事業者の屋内温水プール10施設を活用予定です。各施設2校程度、**全体では20校程度の受入れが可能と想定しています。**

その場合、令和7年度には新たな受入施設が必要となるため、**現在の金町公園の屋外プールを令和7年度に向けて屋内温水プールに改修（10校程度の受入れを想定）**することを計画しています。さらに必要となった段階で次の屋内温水プールの整備を行っていくことも計画しています。

これからのグローバル社会を生き抜く 「豊かな人間力」育成に向けて

指導室

予算額:53百万円

グローバル化が進展している現代社会の中では、主体的に物事を考え、多様性を認め合い、外国語を使ってコミュニケーションを図りながら活躍できる人材が求められています。そこで、これからの時代を担う子どもたちに対して、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、英語教育を充実していきます。これまででも中学1・2年生の希望者を対象にした2泊3日のイングリッシュ・キャンプや英語検定の検定料の助成等、様々な英語教育に取り組んできました。令和4年度からは英語教育の裾野をさらに広げるために、**新たに「小学生英語体験プログラム」と「中学生海外交流」を実施します。**

【小学生英語体験プログラム】（43,682千円）

○対象

- 区立小学校5・6年生全児童
- 保田しおさい学校5・6年生児童

○内容

体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY（東京グローバルゲートウェイ）」のプログラムを体験します。この体験を通し、小学校5年生では外国語への興味・関心を高め、小学校6年生では外国語の表現力を伸ばします。

【中学生海外交流】（9,570千円）

○対象

- 区立中学1年生の全生徒

○内容

タブレット端末や大型提示装置等を活用してオンラインにより実際に海外の現地とつなぎ体験交流をします。外国人に対し、自分の身近な出来事などを紹介するとともに、外国のことを紹介してもらい、海外を知る機会をつくれます。

【TOKYO GLOBAL GATEWAYとは】

江東区青海にある体験型英語学習施設。2つのメインエリアがあり、児童・生徒の興味・関心や発達段階、ニーズなどに応えるための多種多様なプログラムを提供している。

○アトラクション・エリア

エアポートゾーンやホテルゾーンなど、シチュエーションごとのゾーンに分かれているエリア。イングリッシュ・スピーカーが多数配置されており、まるで海外に来たかのような疑似体験ができる。

○アクティブイマージョン・エリア

サイエンスラボやクッキングスタジオなど、さまざまなテーマを英語「で」学べるエリア。グループでコミュニケーションをとりながら体験することができる。



一人一人を大切にする教育の推進

学校教育支援担当課

予算額:20百万円

子ども一人一人は、多様な可能性を持った存在であり、多様な教育ニーズを持っています。一人一人を大切にする教育を推進し、すべての子どもが楽しく充実した学校生活を送れるように支援します。

新規取組等

○自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の増設（17,119千円）

今後の需要の増加への対応や、通学の利便性の向上を踏まえ、既存の高砂小学校・高砂中学校に加え、清和小学校と立石中学校に増設します。

○デジタル版MIMの小学校全校導入（2,755千円）

小学校特別支援教室においてデジタル版MIMを導入します。デジタル化することにより、児童一人一人の読み書きの習得状況を可視化することで、より円滑に個に応じた指導や支援を行うことが可能になります。

○ペアレントトレーニング講座の試行実施（166千円）

学校及び家庭への多角的な支援を行うため、ADHD傾向のある児童との関わり方について困っている保護者向けに、子どもに伝わりやすい言い方やほめ方、注意の仕方などを学ぶペアレントトレーニングを試行的に行います。



MIMとは

(Multilayer Instruction Model)
語の読みの中でも、特につまずきの多い特殊音節（小さい「っ」の詰まる音や、「う」や「お」で表す伸ばす音など）に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり、書いたり、なめらかに読んだりすることを目指す指導モデル。特殊音節をはじめとする語の読みでつまずくと、すべての学習、ひいては日常生活にまで支障をきたす恐れがあるため、早期の確実な習得が重要です。

学校給食費にかかる公費補助を増額します

令和3年2月に文部科学省が「学校給食実施基準」を一部改正し、学校給食における児童・生徒が摂取すべき栄養量が変更されました。また、平成31年1月より学校給食費の公費補助を増額して以降、食材価格が高騰しています。このことを受け、区は適切な栄養量の確保や食材価格の高騰に伴う学校給食費の不足額について、現下の社会経済状況を踏まえ、保護者の負担とせず、**公費補助を令和4年度から約1億円分増額し、倍増します。**

【1食当たりの給食費補助額】

	現行（円）	改定後（円）
小学校※	19.25 (1か月あたり334.25円)	37.07 (1か月あたり643.67円)
中学校	11.83 (1か月あたり200.03円)	29.45 (1か月あたり497.97円)

※保田しおさい学校を含む

【補助の経過】

平成27年 物価上昇による公費補助開始

平成31年 基準改正及び物価上昇による公費補助額増

【給食費月額】（保護者負担）

小学校 3,900円～4,490円 中学校 5,280円



区立小・中学校の個室トイレに生理用品を配備します

区立小・中学校及び保田しおさい学校では、生理用品の持ち合わせのない児童・生徒や、家庭の経済的事柄など様々な理由により生理用品を用意できない児童・生徒に対して、保健室で生理用品を提供しています。令和4年度からはさらに、**各学校の個室トイレに生理用品を配備することにより、安心して学校生活を送れる教育環境を整備します。**

令和6年度OPEN予定

『こち亀』を活用した観光施設を整備します！

観光課

予算額:89百万円

人気漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」（以下、「こち亀」といいます。）の舞台である亀有地域では、現在、キャラクター銅像やデザインマンホール蓋の設置など、「こち亀」を活用した様々な観光施策を進めています。区では、今後の亀有地域のさらなる発展を目指し、「こち亀」をテーマにした「亀有地域観光拠点施設」の整備を進めていきます。

<概要>

住所：亀有3-32-17
面積：193.19㎡

※建物の規模(延床面積600㎡程度を想定)や展示内容等の詳細については今後検討していきますが、子どもから大人まで、様々な世代の方が「こち亀」の世界観を楽しめるような、エンターテインメント性あふれる施設を目指します。

<スケジュール>

令和3年度 基本的な考え方の策定
令和4年度 基本設計・実施設計（建築・展示）
令和5年度
 ） 展示物制作、建設工事
令和6年度
※令和6年度中にオープン予定です。



整備予定地

「こちら葛飾区亀有公園前派出所」

葛飾区名誉区民である秋本治氏の代表作。

1976年に【週刊少年ジャンプ】で連載を開始し、2016年まで40年にわたって連載された国民的漫画。現在でも新作描き下ろしの特別読切が【週刊少年ジャンプ】などで掲載されている。



モンチッチに会えるまち かつしか

観光課

予算額:2.6百万円

令和4年1月26日、JR新小岩駅北口駅前広場にモンチッチモニュメントが設置されました。今後予定されているモンチッチ公園の拡張も踏まえ、新小岩エリアのモンチッチ観光マップを制作します。また、モンチッチ公認レーシングドライバーの吉岡一成氏が出場するスーパー耐久シリーズの会場にて、「モンチッチに会えるまち かつしか」をPRし、新小岩地域への観光客の誘客を図ります。

令和4年度も「モンチッチに会えるまち かつしか」の魅力向上を図ります！

1 モンチッチ観光マップの制作 (288千円)

新小岩にあるモンチッチのモニュメントや時計塔、デザインマンホールのほか、令和4年4月に拡張予定のモンチッチ公園などを紹介するマップを制作します。

時計塔 (新小岩駅北口)

モンチッチデザインマンホール

モンチッチモニュメント



○ラッピングバスの運行 (2,053千円)

京成タウンバスが運行する亀有駅～新小岩駅 東北広場間、新小岩駅東北広場～市川駅間の「モンチッチ」のラッピングバス2台を令和4年度も引き続き運行します。



○マンホールカードの制作 (44千円)

平成29年に配布を開始したモンチッチのマンホールカードを令和4年度も引き続き柴又観光案内所で配布します。



2 スーパー耐久シリーズ会場での「モンチッチに会えるまち かつしか」観光PR (256千円)

モンチッチ公認レーシングドライバーの吉岡一成氏が出場するスーパー耐久シリーズにて、モンチッチデザインの区PR横断幕を掲出するほか、モンチッチ観光マップやステッカーを配布し、「モンチッチに会えるまち かつしか」の魅力PRします。

2022年スーパー耐久シリーズ会場 (予定)

静岡県: 富士スピードウェイ	栃木県: ツインリンクもてぎ
三重県: 鈴鹿サーキット	宮城県: スポーツランドSUGO
岡山県: 岡山国際サーキット	大分県: オートポリス

参考: 6つのサーキット会場での2019年観客総動員数は、101,235人

モンチッチ公認レーシングドライバー

吉岡一成氏 (TEAM NOPRO所属) について

約2,000体のモンチッチと暮らすモンチッチ公認レーシングドライバー。2020年の「NAPAC 富士 SUPRER TEC24時間レース」で優勝しました。

(区内イベント参加歴)

* 新小岩駅東北ひろばまつり (～2019年)

* 葛飾柴又寅さん記念館モンチッチイベント (2019年)



堀切地域の観光推進事業

観光課

予算額:8.7百万円

昨年12月に制作したマップ「堀切まちさんぽ」を使ったまち歩きイベントを開催することで、堀切菖蒲まつりの時期だけでなく堀切の魅力をPRします。また、堀切菖蒲園をメイン会場として実施する冬のライトアップイベントを支援します。

1 まち歩きイベント (1,310千円)

堀切菖蒲園を軸に、指定スポットを回遊するイベントを商店会などの地域住民の協力のもと実施します。

2 堀切菖蒲園 冬のイベント運営支援委託(7,470千円)

令和2年度に国の支援により実施した「冬の堀切菖蒲園 和と光のおもてなし」を、令和4年度は区が支援して行います。来年度は引き続き園内のライトアップに加え、堀切の歴史や伝統文化の魅力を発信します。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、中止になりました。

時期：令和5年1月・2月ごろ

場所：堀切菖蒲園ほか

堀切まちさんぽ



堀切菖蒲園



冬の堀切菖蒲園 和と光のおもてなし (令和2年度)



都市型スマート農業の実証実験を支援し、 将来のブランド化を目指します

産業経済課

予算額: 1.5百万円

現在、区内には約35ヘクタール（令和2年8月1日現在）の農地があり、新鮮な野菜を供給しているだけでなく、災害時には避難スペースになるなどの役割も担っています。狭い農地が点在する都市型農地の生産性を向上させ収益性を確保するため、**東京理科大学と区内農家が連携して実施する情報技術を活用した効率的な農業の実証実験について支援します。**

1 実証実験内容

農作物を対象とし、苗ごとにセンサーを設置し養分等を数値化。定植から収穫までの生育状況を実時間で把握することで、追肥等の事前の調整を正確に行えるなど、品質と生産性の向上を図る。

2 事業スキーム

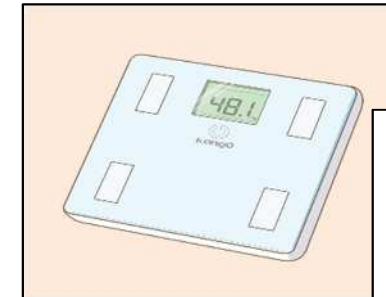
葛飾区	JA東京スマイル 葛飾営農研究会	東京理科大学 理工学部 電気電子情報工学科 (杉山 睦 教授)
・JA東京スマイル 葛飾営農研究会 への実験委託	・実証実験用地で の栽培・実験	・実験結果の分析 ・農業者への実験指導、 技術支援

【現状】

- ・農業者の長年の経験が頼り
- ・肥培管理や病気状況把握等に時間的な遅れが生じ、気づいたときには手遅れになってしまうことも

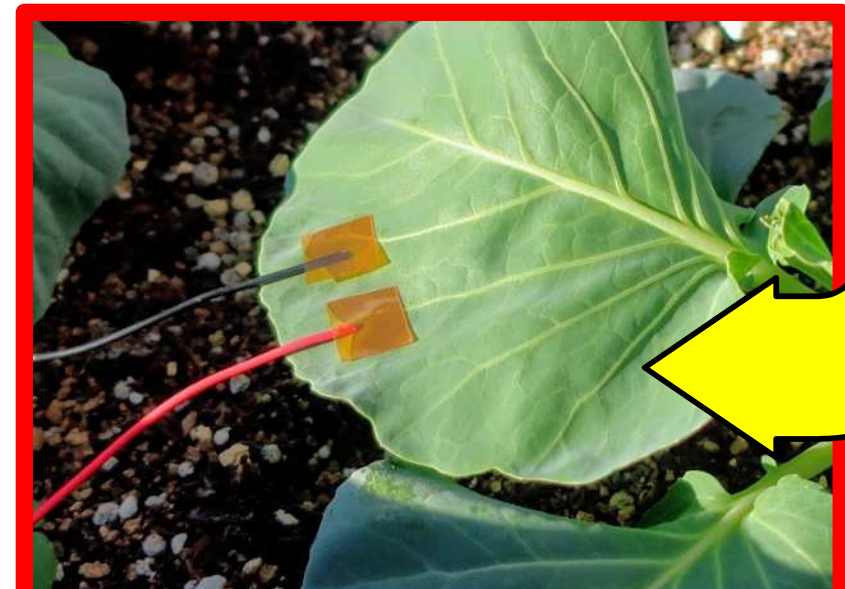
【将来像】

植物の健康・ストレス状態を、モニタリングするシステムの導入によって、迅速な状況把握・対応が可能に
 →システム導入による効率化・労力軽減
 →経験に頼っていたノウハウ継承のシステム化



体重計は、足裏に微弱な交流信号を流すことで体組成を測定します。

この原理を応用！



葉や茎に、微弱な交流信号を流すことで、植物の健康状態、ストレス状態、栄養過多/不足状態などを常時モニタリングします。

ウィズコロナの消費喚起 プレミアム付商品券発行助成

発行総額
16億8千万円

商工振興課

予算額:387百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費を喚起し地域経済の活性化を図るため、葛飾区商店街連合会が発行するプレミアム付き商品券の発行経費を一部助成します。電子決済システム「かつしかPAY」を利用したデジタルプレミアム付商品券の発行も、令和3年度に引き続き行います。

	プレミアム付商品券	デジタルプレミアム付商品券
発行総額	14億4,000万円	2億4,000万円
販売数	12万セット	2万セット
販売価格	1セット(500円×24枚=12,000円)を10,000円で販売	12,000円分のポイントを10,000円で販売
プレミアム率	20%	20%
使用期間(予定)	令和4年7月上旬から 令和4年12月末まで	令和4年9月下旬から 令和5年1月末まで



【令和3年度実績】

- プレミアム付商品券：175,433セットの応募
- デジタルプレミアム付商品券：10,401セットの応募

葛飾柴又の文化的景観の保存・活用

葛飾柴又是平成30年2月に都内で初の、国の重要文化的景観に選定されました。日本を代表する景観地として評価された葛飾柴又の価値や魅力を守り受け継いでいくためには、継続的な保存・活用の取り組みが重要となります。

葛飾柴又の文化的景観の重要な構成要素である建築物などの老朽化や道路整備事業などによる景観への影響などが課題となっており、令和3年度中に策定する「葛飾柴又の文化的景観整備計画」に基づき、葛飾柴又の文化的景観の保存・活用に向けて総合的に取り組んでいきます。

保存・活用に向けた主な課題

●重要な構成要素の継承 (帝釈天や参道店舗等の保全)

- 老朽化に対応した修理への補助支援
- 景観維持ルールの整備



●道路整備（柴又街道）拡幅による影響

- 重要な構成要素である建築物の保全



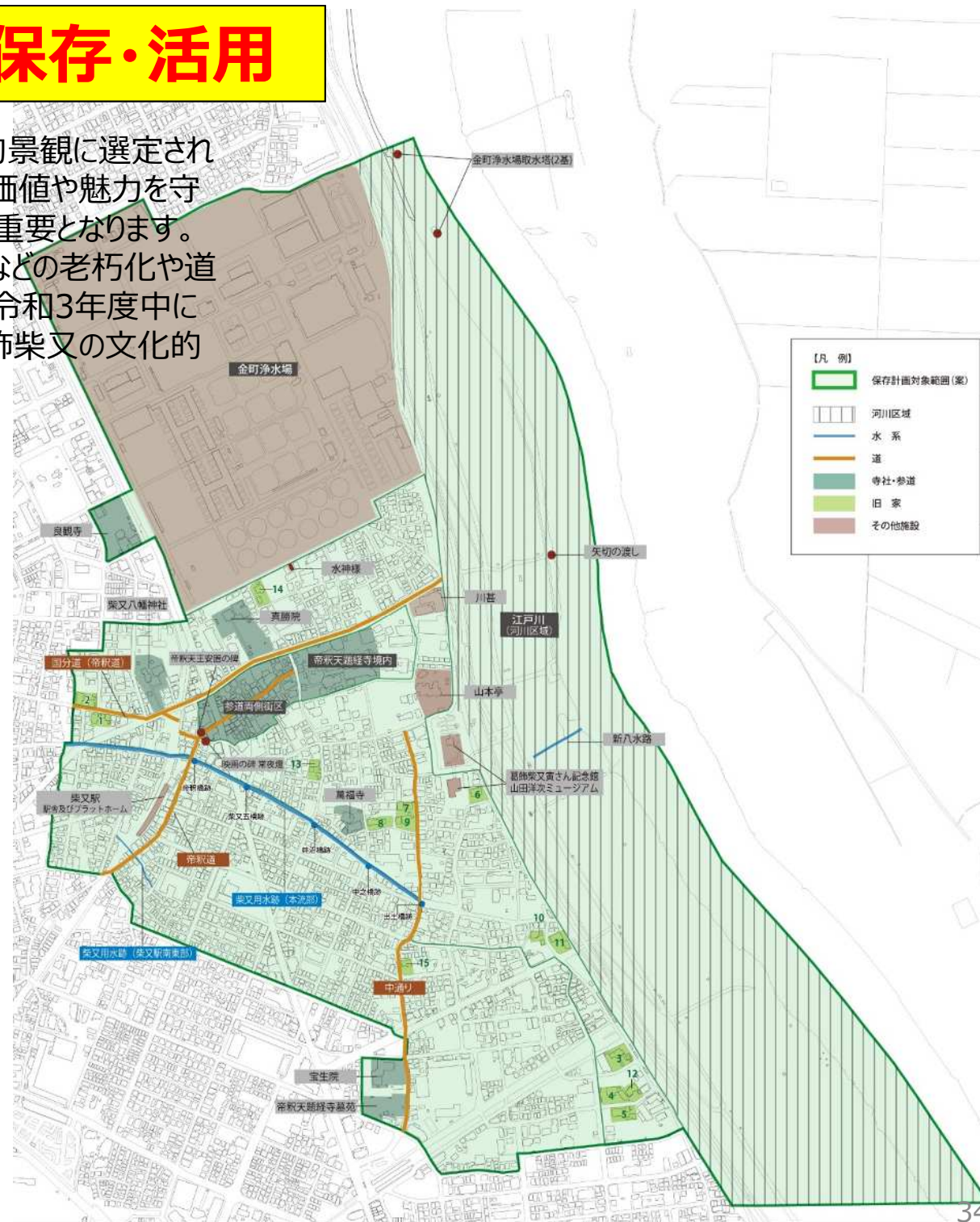
●江戸川堤防からの景観の保全



●観光振興（川甚跡地の活用）



●地域住民の文化的景観への理解と 区内外へのPR（葛飾柴又の魅力の発信）



葛飾柴又の文化的景観保存・活用に向けて

生涯学習課
街づくり推進担当課
観光課

予算額:28百万円

平成30年に、「葛飾柴又の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定された後、柴又景観地区の保存・活用法が課題となっています。令和4年度は、今年度策定予定の「葛飾柴又の文化的景観整備計画」を推進するための支援委託を実施します。

1 葛飾柴又の文化的景観整備事業推進支援委託（10,000千円）生涯学習課

○重要な構成要素修理補助事業の制度構築

重要な構成要素を保存するための補助事業の対象や支援項目、費用等を整理し、修理事業を開始します。

●検討案

補助対象：参道をはじめとした重要な構成要素

※補助金額は検討中

○文化的景観保存・活用に係る検討・相談体制の構築及び運営

地元組織と区の役割を整理し、保存・活用の取り組みを円滑に進めるための体制を構築します。

○整備イメージの作成

整備事業の方向性を地元や事業者と共有し、協働による保存・活用を推進するための整備イメージを作成します。

2 葛飾柴又の文化的景観の取組（5,523千円）生涯学習課

都内初の選定を受けた「葛飾柴又の文化的景観」の保存・活用に取り組むことで、柴又地域の活性化を図ります。

参考：重要な構成要素(計84項目)



矢切の渡し



帝釈天題経寺

・重要な構成要素のプレート設置（19,800円×84件）

・文化的景観ニュースの発行（年4回）

・重要な構成要素所有者に対して、保存対象の適切な維持管理のための助成制度創設
（奨励金 1件50,000円×70件）

3 柴又地域景観地区に関する基礎調査業務委託（6,500千円）都市計画課

「葛飾柴又の文化的景観整備計画」を踏まえ、「参道や江戸川土手から見る調和のとれた柴又の風景・街並み」の具体化に向け、現況調査等により「柴又地域景観地区」（平成29年3月都市計画決定）の検証を行います。



参道から見た街並み



江戸川土手から見た街並み

4 （仮称）葛飾柴又の魅力再発見・AR謎解きウォークの実施（4,024千円）観光課

都内で初めて国の重要文化的景観に選定された「葛飾柴又」の歴史・文化・自然の特徴や魅力を紹介するイベントを開催し、ウィズコロナ・アフターコロナにおける柴又散策の魅力を高めます。令和4年度は、葛飾柴又の文化的景観エリア内にARスポット8カ所を設置し、ストーリー仕立てにした謎を解きながらまち歩きを楽しんでいただくイベントを実施し、柴又の魅力を伝えていきます。

・開催予定時期 令和4年7月頃～令和5年3月



令和2年度版パンフレット

5 川甚跡地活用に向けた検討（1,456千円）観光課

地元区民、学識経験者などで構成する検討組織「柴又観光まちづくり検討会」を実施し、地元区民と一緒に川甚跡地の価値を踏まえながら新館の活用策の検討を進めていきます。

柴又観光まちづくり検討会

開催予定時期 令和4年4月～令和4年8月(計3回実施)

川甚閉店から新館開設までのスケジュール(予定)

令和3年1月末	川甚閉店
令和3年9月	本館解体工事開始
令和4年3月	解体工事完了、土地及び新館区へ引き渡し（予定）
～令和7年度	新館工事の基本設計・実施設計作成（予定）
	工事着工（予定）
	オープン（予定）



地域文化遺産制度の創設

生涯学習課

予算額
1.5百万円

区内には学術的に重要とされる指定・登録文化財以外でも、地域で大切に守り伝えられている文化遺産があります。こうした**地域に眠る文化遺産を調査・把握し、認定する制度を創設します**。また、認定された文化遺産が今後も継承されるよう、地域が主体となり学校授業やお祭り等で活用できる取組を検討します。

○地域文化遺産の例

- 延命寺の厄神祭（青戸、右写真）
- 水神祭り（東立石）
- 大畑稻荷神社初午祭（西水元）
- 木下川薬師花祭（東四つ木）
- ふいご祭り（立石） など



経費総額
39.1億円

新型コロナウイルス対策経費

新型コロナウイルス感染症から区民の生命・財産を守るため、区内商業の振興支援や中小企業支援などの社会経済活動の維持への取り組みをはじめ、介護施設・障害者施設のPCR検査等費用助成や医療提供体制の維持への取り組みを引き続き実施します。

主な取り組み

検査・接種 21.7億円

- ◆新型コロナウイルスワクチン接種費
- ◆福祉施設等PCR検査等費用助成
- ◆地域外来・検査センター運営費 など

商業支援 1.9億円

- ◆プレミアム付商品券(デジタル含む)発行
事業費助成

中小企業等支援 11.5億円

- ◆新型コロナウイルス対策緊急融資

生活支援 2.4億円

- ◆生活困窮者自立支援金支給事業

子宮頸がん・乳がん検診を無料化！

がん対策の総合的な推進

女性特有の子宮頸がんや乳がんは、働き盛りである20歳代から40歳代の時期にかかりやすく、近年増加傾向にあります。しかし、検診受診率は低い状況です。

令和4年度からは、国のガイドラインにより子宮頸がん検診を2年に一度の受診とし、若い世代を重点的に受診勧奨します。さらに、男性よりもがん検診の項目が多い女性が受診しやすいように**自己負担額を無料**とし、受診率向上を図りがんの早期発見・早期治療につなげます。

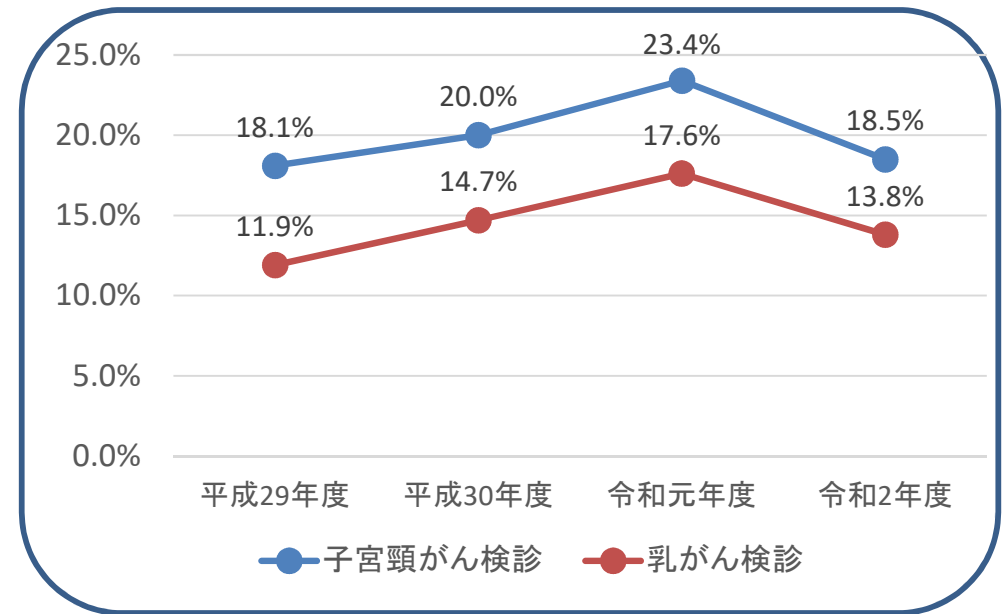
《担当部署》
健康づくり課
《予算額》257百万円

検診項目	自己負担額 (現在)	令和4年度
子宮頸がん	1,000円	無料
乳がん		

無料化



乳がん検診の様子



葛飾区における子宮頸がん・乳がん検診の受診率

※とうきょう健康ステーションより作成

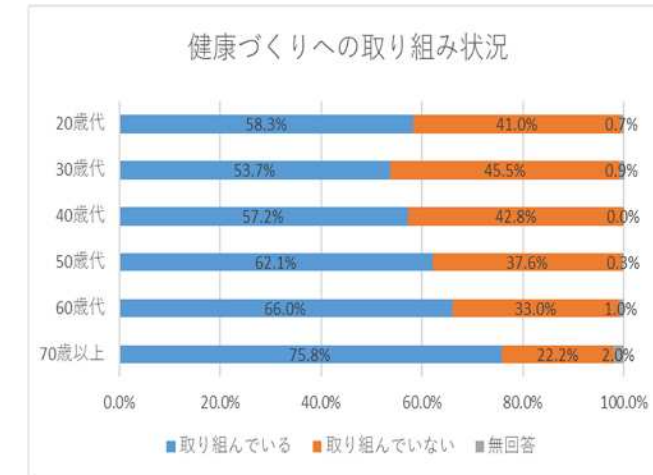
働く世代への総合的な健康づくり支援

<<担当部署>>
 地域保健課
 健康づくり課
 <<予算額>>5百万円

働く世代は他の年代と比較して、健康づくりに取り組んでいる人の割合が低くなっています。

働く世代の健康づくりを支援するため、区内事業所で働く方を対象に、**ウェアラブル端末やアプリを活用した体重や歩数などの記録管理**を行い、**ポイントに応じて「かつしかの元気食堂お食事券」をプレゼント**するなど、健康的な生活習慣に取り組むきっかけづくりを行います。また、事業所ごとの取り組み状況をまとめた**「事業所カルテ」**を毎月発行し、事業所内のグループ効果を促しながら働く世代への健康づくりを支援していきます。

- 1 実施期間 令和4年6～10月の間の3か月間
- 2 対象者数 区内約30事業所の合計100名まで(令和3年度実績 6事業所 50名)



「葛飾区政策・施策マーケティング調査(令和3年8月)」

主な実施項目

【体】

- 運動 体重と歩数を毎日測定
- 食事 食事内容の質問票とアプリで食事バランス等 データ化

○記録をグラフ等で可視化し、体重管理を効果的に行えるよう支援

○参加者の食事内容等に基づき、事業所全体の傾向や対策を区栄養士がアドバイス

【心】

- ウェアラブル機器による睡眠測定
- アプリによるストレスチェック

○ストレスのセルフコントロールを支援

○必要に応じ、専門機関への相談勧奨



ウェアラブル端末の着用イメージ



「かつしかの元気食堂お食事券」見本

令和4年度新たに
**81歳の方も
実施!**

健康長寿いきいき健康診査の 対象者を拡大します!

健康づくり課

予算額:1.9百万円

区では独自に、年度末年齢76歳の方を対象として、加齢により、飲み込む力が弱くなったり筋力低下により杖や手すりが必要になるなど身体機能の低下の疑いがある方を早期に発見し、回復させることを目的とした「健康長寿いきいき健康診査」を令和2年度より、モデル的に実施しています。

令和4年度は、新たに年度末年齢81歳の方も対象として実施します。

【実施期間】 後期高齢者を対象とした葛飾区長寿医療健康診査（対象者：約59,000人）と同時に実施

【対象者】 年度末年齢が76歳の方（約4,600人）、81歳の方（約3,800人）
※介護保険の要介護・要支援認定を受けている方は対象外

【費用】 無料

【内容】



①問診

1階から2階まで階段を上ることができるかなど、身体の状態について3項目の問診を行う。

②測定・検査

「①問診」の3項目の質問すべてに該当した方に、身体機能の低下を把握することができる「自己指輪っか確認」や飲み込み、立ち上がりの測定・検査を行う。

③栄養指導・機能訓練の案内

「①問診」と「②測定・検査」の結果から、食べ物が飲み込めなくなったり、歩けなくなったりしないための予防訓練が必要と判断される方には、葛飾区医師会の無料栄養指導・機能訓練（3か月）を案内する。

④健康寿命の延伸へ!

地区ごとに行う「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」のほか、「介護予防事業」、「スポーツ事業」につなげ、健康長寿の延伸を図ることを検討する。

※長寿医療健康診査の結果から低栄養等が疑われる方にも、葛飾区医師会の無料栄養指導・機能訓練（3か月）を案内

高齢者の介護予防事業

— 生き生き元気に！美しく！かっこよく！ —

地域包括ケア担当課

予算額：144百万円

このマークが目印！



△広報かつしかにおいても健康増進に関する記事を掲載しています！

コロナ禍において運動不足になりがちな区民らが自主的に取り組む様々な介護予防活動について支援していきます。「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」については、令和4年度より**対象地区を区全域に広げ**、自主グループが実施する様々な介護予防活動の場に、専門職を派遣します。

高齢者の健康寿命の延伸に関する取り組みとして、現在実施している介護予防事業について充実を図ります。フレイル予防については葛飾区医師会と連携しながら事業を進め、高齢者総合相談センターにおいては高齢者の健康状態の把握を積極的に行います。

【一般介護予防事業費】

- (1)うんど教室事業経費
- (2)筋力向上トレーニング事業経費
- (3)脳力トレーニング事業経費
- (4)回想法教室事業経費
- (5)ふれあい銭湯事業経費
- (6)介護支援サポーター事業経費

のうちから

【介護予防・生活支援サービス事業費】

- 住民主体サービス運営助成経費：
 - ミニ・デイサービス 18か所、高齢者等サロン 40か所

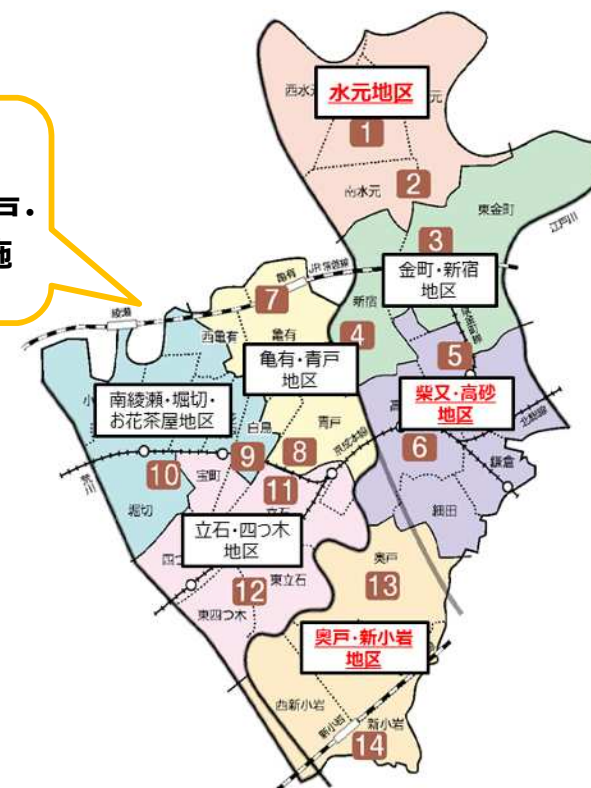
【介護予防推進事業経費】

- (1)介護予防教室事業経費
- (2)運動習慣推進プラチナ・フィットネス事業経費
- (3)シニア版ポニースクール事業経費
 - ⇒年間3コースを令和4年度は4コースで実施
- (4)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業経費
 - ・医師会と連携したフレイル予防
 - ・高齢者総合相談センターでの取組

【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施】については令和4年度より水元地区、柴又・高砂地区、奥戸・新小岩地区も追加し、区全域で実施します！



△専門職による指導の様子



※地図上の番号は高齢者総合相談センター 42

現在葛飾区で行っている介護予防・認知症予防の取り組み・事業

実施時期や会場など、詳細は以下までお問合せください。

地域包括ケア担当課

○介護予防係

☎03-5698-6202

○シニア活動支援センター

☎03-5698-6201

FAX (共通) 03-5698-6203

〒124-0012 葛飾区立石 6-38-11
(シニア活動支援センター内)



京成線青砥駅より
徒歩 3分

運動 運動習慣推進 **有料** プラチナ・フィットネス

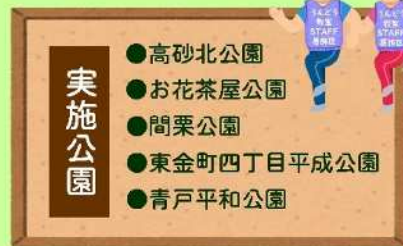
区内のフィットネスクラブ施設を利用して、専門のインストラクターの指導を受けながら、興味や体力に合った運動を行います。

- KSC wellness フィットネスクラブ金町
- スポーツクラブルネサンス青砥 24
- セントラルウェルネスクラブ 24 京成小岩
- セントラルフィットネスクラブ青砥
- ダンロップスポーツクラブ綾瀬店
- ティップネス新小岩店
- 東急スポーツオアシス金町 24Plus
- メガロス葛飾店
- セントラルフィットネスクラブ亀有



運動 **無料** うんどう教室

公園に設置した専用のうんどう器具を使って、「つまずき」や「ふらつき」を予防するための運動を行います。



- 高砂北公園
- お花茶屋公園
- 間栗公園
- 東金町四丁目平成公園
- 青戸平和公園

協働 介護予防 **無料** ボランティアリーダー

あなたの力を地域の力に!
地域の自主グループ活動の進行役を担うリーダーを養成します。



運動 **無料** 筋力向上トレーニング

膝の屈伸運動や腕の運動、背伸びの運動などによって筋力を向上させていきます。

<令和3年度実施講座>

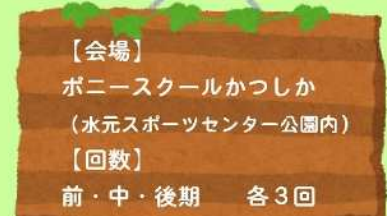
- 水曜コース (全 21 回)
- 木曜コース (全 21 回)



自主グループが
約 60 団体あります。

運動 **無料** シニア版 ポニースクール

乗馬によって、普段使っていない筋肉を鍛えます。また、馬の世話を通して、楽しく介護予防に参加する機会を作ります。



【会場】
ポニースクールかつしか
(水元スポーツセンター公園内)
【回数】
前・中・後期 各 3 回

協働 通所型 **有料 無料** 住民主体サービス

介護予防の要素を含んだ活動をする団体の運営支援をしています。

(団体により活動費は異なります。)

- ミニ・デイサービス (18 か所)
専門職による各種プログラムを行う緩和型のデイサービスです。
- 高齢者等サロン (35 か所)
健康体操や脳トレ、趣味活動などを通して、交流できる通いの場です。

お近くの活動場所を
ご紹介します!



生きがい 介護予防 活動参加 生涯学習

シニア活動支援センターで
いきいき
元気に!

令和3年度
葛飾区福祉部
地域包括ケア担当課

現在葛飾区で行っている介護予防・認知症予防の取り組み・事業

学ぶ シルバー カレッジ 有料

専門講師による、教養や学習意欲を高めるための講座です。

<令和3年度実施講座>

- 古代ギリシャの美術と文化
- もっと知りたいクラシック音楽講座
- 日本史上、力強く生きた女性たち
- 私の良寛さん～その詩歌を味わう～



学ぶ 初めての 囲碁教室・将棋教室 無料

ルールを覚え、対戦することを通じて脳の活動を高めるとともに、参加者同士の交流を図ります。

囲碁・将棋とも
1講座（8回）×1コース



脳活性化 脳力（のうちから） トレーニング 無料

記憶力や判断力を養うプログラムをグループで行い、コミュニケーションを楽しみながら脳の活性化を促します。

自主グループが
27団体あります。

- 【脳トレ学園】
簡単な計算や音読も行います。
- 【脳トレ友遊クラブ】
グループでコミュニケーションを楽しみながら行います。

脳活性化 回想法 無料

自分の体験を語り合い、過去のことに思いを巡らすことで、脳を活性化します。

【回想法教室水元コース】全8回



自主グループが
15団体あります。

学ぶ 生きがい支援講座 有料

健康の増進や生きがいづくりに役立つ、新たな趣味や教養を得られる講座です。

<令和3年度実施講座>

- 優しいヨガ
- からだ見直し塾
- ラ・ラ・ラ・ダンス！
- ラテンのリズムを楽しもう
- 羊毛フェルトで干支を作ろう！
- シニアのための英語講座
- スタイリッシュダンス
- 歌で巡る日本の旅情
- シニアだって踊りたいダンス&ストレッチ



脳活性化 介護予防講座 有料

体力や筋力の維持・向上や、記憶力や判断力を養うことを目的とした講座です。

- スポーツボイスフィットネス
- 大人の塗り絵
- 脳活ミュージック倶楽部
- 心豊かに音楽療法
- コグニサイズ
- こころと姿勢を整える座禅・瞑想
- 健美操
- まちかどエクササイズ



脳活性化 ふれあい銭湯 無料

区内9銭湯の営業時間前の脱衣所等を活用して、健康体操や脳トレ、レクリエーションを行います。

(月1回)

実施銭湯

- ♣️ アクアガーデン栄湯
- ♣️ さつき湯
- ♣️ アクアアドルフインランド
- ♣️ 末広湯
- ♣️ 喜久の湯
- ♣️ 第四富士の湯
- ♣️ 寿湯
- ♣️ 富士の湯
- ♣️ 栄湯

特定非営利活動法人(NPO) **KAC葛飾アクティブ.COM**

シニアの生活と地域社会の活性化を図るために活動している団体です。様々な講座・イベントを実施しています。

【講座一例】

- 有料 ● 各種パソコン・スマホ講座
- 健康マージャン教室
- 英語を楽しむ会
- 布ぞうり工房教室
- 無料 ● 思い出の歌を歌おう
- 映画観賞会

詳しくは
お問い合わせ
ください

<問い合わせ>
葛飾区立石 6-38-11
シニア活動支援センター地下1階
電話 03-3692-3180
<https://katushika-active2.jimdofree.com/>

ヤングケアラーや高齢者を介護している方などのための相談窓口を充実します！

— 土日・夜間の時間帯も対応 —



高齢者支援課

予算額:4.1百万円

少子高齢化や核家族化など、在宅で介護する家族の状況の変化により、**介護者の身体的・心理的な負担や孤立感、介護離職、介護と育児のダブルケア、ヤングケアラーなど、家族介護者が抱える課題は多様化**しています。そこで令和4年度は、**夜間休日の電話相談窓口の設置やパンフレットの作成など、家族介護者への支援の充実を図ります。**

1. 家族介護者のための電話相談窓口の設置

区役所が閉庁している時間に専門資格を持つ相談員を配置し、家族介護者の不安や悩みをお聞きし、具体的な支援につなげます。

【主な相談内容】

- (1) 介護、福祉及びこれに伴う悩み相談
- (2) 介護保険や区等の福祉制度に関する相談及びそれに伴う手続き方法や窓口の問い合わせ



2. 家族介護者のためのパンフレットの作成

家族介護者が、様々なサービスを利用するにあたって、問い合わせ先や利用条件などをわかりやすくまとめたパンフレットを作成します。

介護事業所・施設への ICT化促進費助成事業



介護保険課

予算額:4.5百万円

介護事業所や施設のICT化を促進することで、業務効率化、職員の負担軽減、職場環境の向上を図り、介護人材の確保・定着を目指します。区では、事業所・施設職員のICTスキル向上に資する研修経費と、ICT化に資する業務効率化に関するコンサルティング経費について、費用の一部を助成します。

▽本事業における「ICT」とは…

介護ロボット（移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援等）、自動翻訳機、介護業務支援システム（記録業務、情報共有、請求業務を一貫して行うことができるもの）、パソコン、タブレット端末、スマートフォン、通信機器、Wi-Fi環境等のことを指します。

▽メニュー 1 事業所（施設）につき1つのメニューを選べます

事業	補助対象経費	補助率	補助上限額
(1)職員のICTスキル向上に資する 研修経費補助事業	●研修受講料 ●研修開催経費 ●代替職員経費	3 / 4	1事業所(施設) あたり 22.5万円 (1法人又は1団体 あたり75万円)
(2)ICT化に資する業務効率化に関する コンサルティング経費補助事業	コンサルティング委託料	9 / 10	1法人あたり 90万円

▽対象

葛飾区内の介護サービス事業所、施設

メニュー(1)については、複数の事業所等が合同で事業を行うことも可能です。

電気自動車用充電設備の設置費用を助成します！

電気自動車の導入を促進するために、マンションや事業所などへの充電設備の設置費用を助成します。

現在、国がマンションや事業所などへの充電設備の設置費用を助成しており、これに区独自で上乗せする形で補助金を交付し、区内における充電設備の普及を促進します。

【対象】 集合住宅、事業所

【助成額】 国の補助事業における助成額の1/4（上限30万円）

環境課

予算額:2.4百万円



△電気自動車用急速充電器（イメージ）

東京ゼロエミ住宅へ上乗せ助成します！

東京都では「東京ゼロエミ住宅（※）」の新築に関わる経費の一部を助成する事業を行っています。「東京ゼロエミ住宅」の区内への普及を促進するため、区独自で上乗せ助成します。

【対象】 個人住宅

【助成額】 都の補助事業における助成額の1/4（上限30万円）

環境課

予算額:0.9百万円

※東京ゼロエミ住宅とは…

都が独自に定めた住宅の断熱性能の確保と、設備の効率化により、省エネ性能等を一層向上させた住宅のこと。

東京の地域特性を踏まえ、再生可能エネルギーを除いた住宅の省エネ性能について基準を設定するとともに、Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の判断基準よりも高く設定している。

公共施設における再生可能エネルギー100%の 電力への切替えに関する取組

環境課
生涯スポーツ課

葛飾区では2050年に温室効果ガス（二酸化炭素）排出量実質ゼロの実現を目指しており、この高い目標の達成のためには再生可能エネルギー電力の利用促進は重要です。そこで令和4年度は、奥戸総合スポーツセンター等各スポーツ施設及び総合庁舎について、再生可能エネルギー100%の電力に切替えます。

23区初!

【エネオク（※）の利用について】

スポーツ施設においては再生可能エネルギー100%の電力導入にあたりエネオク（※）を利用します。また、区有施設におけるエネオクの利用は**23区初**（中央区と同時）です。今後も区としてはエネオクの活用などについて他施設への拡大を含め、コストをなるべく抑えながら環境負荷の少ない電力に転換していくよう、調達方法についての検討を引き続き進めてまいります。

※エネオクとは…

（株）エナーバンクが提供する、他社の入札状況が見える状態で、一定期間何度でも再入札可能な仕組み（リバースオークション方式）を採用し、電気料金の最適化を支援する無料サービス。

切替えにより、葛飾区の事業で排出する温室効果ガスを

約9.6%（※）削減できる見込みです！

※令和2年度における温室効果ガス排出量の実績を基に試算



△奥戸総合スポーツセンター



△葛飾区総合庁舎

ZEB Ready 認証を取得した 新たな清掃事務所の整備を進めます！

清掃事務所
地域防災課

予算額:1,345百万円

清掃事務所、新宿分室、奥戸分室、区内で集めた燃やさないごみ等の積み替えを行う葛飾中継所（奥戸分室と併設）の4施設を、奥戸分室と葛飾中継所の敷地へ集約し、新たな清掃事務所の整備を進めます。清掃事務所棟については、必要なエネルギーを、省エネルギーで50%以下まで削減する「ZEB Ready（ゼブ・レディ）」認証を取得する予定です。また、ごみの分別、中継施設である中継棟には、災害時の物資運搬を円滑にするための備蓄倉庫を併設します。令和4年度は、清掃事務所の奥戸分室の解体工事及び、新たな清掃事務所と分別中継施設の建設工事に着手します。

【敷地及び建物の概要】

- (1)所在地：葛飾区高砂一丁目1番
- (2)敷地面積：4,766平方メートル
- (3)構造・階数：清掃事務所棟 鉄骨造 地上5階建
備蓄倉庫・中継棟 鉄骨造 地上2階建

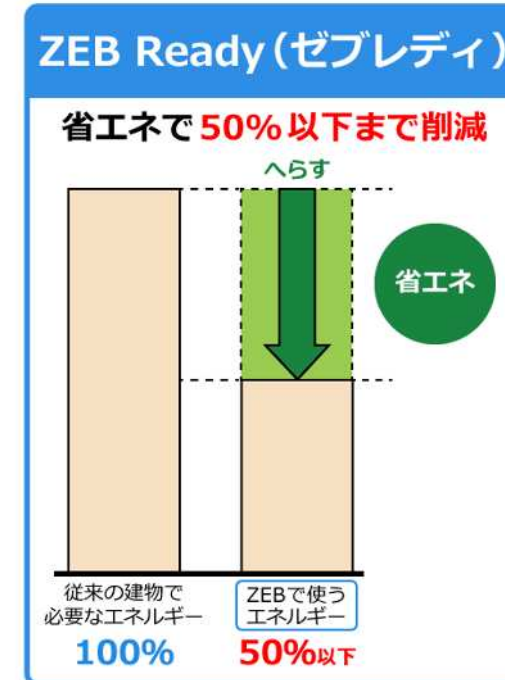
【事業スケジュール】

- 令和4年度 土壌汚染対策工事、解体工事、建設工事
- 令和5年度 建設工事
- 令和6年度 供用開始



△完成予想図

※完成予想図については想定であり、一部変更する可能性があります。



(環境省ホームページより)

シンボルプロムナード公園に葛飾生まれの立体花壇 「フラワーメリーゴーランド」が新たに設置されます！

環境課

予算額:2.6百万円

東京2020大会期間中、有明地区のシンボルプロムナード公園や聖火台の置かれた夢の大橋、幕張メッセなどの競技会場周辺に「花と緑」を創出する東京都の「花の都プロジェクト」の一環で葛飾区などにより考案された立体花壇「フラワーメリーゴーランド」、「フラワーキャンバス」が設置されました。

この度、同大会のレガシーとして聖火台が設置されることが決定したシンボルプロムナード公園に、区として新たにフラワーメリーゴーランド4基を寄贈し、街に彩りを添えます。

【フラワーメリーゴーランドとは…】

どこでも水やりおまかせ型立体花壇「フラワーメリーゴーランド」は、葛飾区と「かつしか花いっぱいのみちづくり推進協議会」で公共空間への花の新たな展開方法を具体化するためにプロジェクトチームを立ち上げ考案・開発しました。

太陽光で発電し自動で水やりができたり、まんべんなく日を当てるため360度回転できたりするなどの利点があるほか、設置面積は約1㎡と小さなスペースで空間を色鮮やかな花で彩ることができます。立体花壇の技術を活かした壁面型花壇「フラワーキャンバス」も開発されました。

東京2020大会期間中フラワーメリーゴーランド、フラワーキャンバスが街を彩りました！
このうち現在も7基のフラワーメリーゴーランドはプロムナード公園内に設置されています🌸



△フラワーメリーゴーランド

総合庁舎の整備

現在の総合庁舎は、老朽化、狭隘化、防災性能の不足など、様々な課題を抱えています。この諸課題の解決に向け、新たなサービス拠点、災害対策拠点として新庁舎（立石駅北口地区市街地再開発事業の建築物の東棟）に庁舎機能を移転することを基本として準備を進めています。

令和4年度は、再開発事業の進捗を踏まえて、新庁舎の建築・設備計画、庁舎機能、整備費用等をとりまとめた説明書を作成し、利用イメージが分かる動画などと合わせて、区民へ周知を図りながら進めていきます。

《担当部署》
総合庁舎推進担当課
《予算額》770百万円



新庁舎外観イメージ

新庁舎階層構成イメージ
※東京都葛飾都税事務所は、移転の方向で東京都と協議中

建て替えにより、区民サービスの向上、防災機能を強化

新庁舎（立石駅北口再開発東棟） （令和10年度ごろ移転）

- ◆ 駅前／交通利便性
⇒ **便利で快適な区民サービス**
- ◆ 免震構造／通常の1.5倍の耐震安全性
⇒ **災害対策本部などの機能強化**

現庁舎新館

（令和10年度以降大規模改修）

- ◆ 分散配置されている部署の集約
⇒ **道路、公園等の出先機関の集約などによる業務の効率化、災害時の機動力強化**

現庁舎本館・議会棟

（令和10年度以降 解体予定）

◆ 今後のスケジュール（予定）

- 令和4年度 葛飾区の事務所の位置変更に関する条例改正議案提出
- 令和5年度 東棟工事着手
- 令和10年度 東棟工事完了、移転

夜間・土日も開庁！

新小岩駅ビルに区民事務所を移転

《担当部署》
戸籍住民課
《予算額》113百万円

令和5年冬にオープン予定の「(仮称)新小岩駅南口駅ビル」内に新小岩北区民事務所及び新小岩区民サービスコーナーを移転します。区民事務所以外にもワークスペース、多文化共生と地域活動に関するコーナー、多目的ひろばを設置し、利便性の高い施設を目指します。

1 区民事務所

(1)平日夜間・土日開庁

駅直結という好立地を生かし、仕事帰りやお買い物ついでに立ち寄れるよう、**平日(月～金)は夜間まで、土日にも開庁**します。

(2)デジタル対応

窓口の混雑状況をスマートフォンで確認できるシステムや、**窓口から離れた場所でも呼び出しを受けられるシステム**等の導入を検討しています。

(3)通訳スタッフの配置

新たに住民となる外国人へ各種の手続きや区内での生活に慣れていただくための案内を行います。

2 図書サービスカウンター

予約図書の貸出、返却、利用登録を行うことができます。

3 リモートワークなどで利用できるビジネス・パーソナルスペース

有料のワークスペース(個室6室/カウンター10席)(予定)



4 多文化共生と地域活動に関するコーナー

(1) 地域活動に関する翻訳支援

携帯型翻訳機による翻訳支援を行い、地域活動を行う区民が外国人区民向けに情報発信できるよう支援します。

(2) 相談対応

外国人向けに、ごみ出しルールなどの生活支援ガイドを行います。

(3) 地域活動をPR

転入者や外国人に向けて、自治町会活動をはじめとする地域活動をPRする動画の投影や展示を実施

(4) 展示ギャラリー

絵画、写真、書、生け花など、区民が制作した様々な作品を展示します。



5 多目的ひろば

(1) 地域団体による利用

新たに住民となる方や小さい子どもがいる親などを対象に講座やコミュニティカフェを実施するほか、各種展示やコンサートなどのミニイベントを開催します。

(2) その他

期日前投票、各種行政手続・相談など



新小岩に子育てや健康、地域活動の新たな拠点がオープン！

「にこわ新小岩」開設



《担当部署》
〈地域活動センターについて〉
地域振興課
〈子ども発達センターについて〉
障害者施設課
〈保健センターについて〉
青戸保健センター
〈子ども未来プラザについて〉
子育て施設整備担当課
《予算額》285百万円

子ども未来プラザや保健センター、児童発達支援事業所、地域コミュニティ施設の機能が一体となった複合施設「にこわ新小岩」を開設します。子育て、健康及び地域活動の推進など、各事業を連携させて、より充実したサービスを提供し、賑わいの拠点としていきます。

1 施設概要

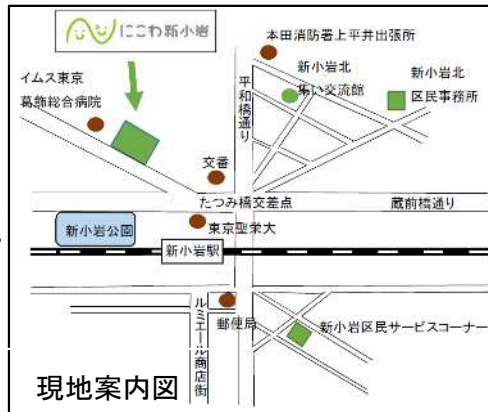
- (1)所在地 西新小岩四丁目33番地内
- (2)構造等 鉄筋コンクリート造4階建て
- (3)設置する施設

- ①(仮称)子ども未来プラザ西新小岩
・上平井保育園
- ②新小岩保健センター
- ③(仮称)子ども発達センター新小岩分室
- ④(仮称)新小岩地域活動センター

2 スケジュール(予定)

- ・令和4年3月末 建設工事完了
- ・令和4年7月中旬・下旬 上記施設①、②、③運営開始
- ・令和4年7月末 オープニングセレモニー開催
- ・令和4年8月 ④運営開始
- ・令和5年秋 外構工事完了

「にこわ」とは「にこにこ」と「輪」を合わせ、「笑顔の輪が広がる場所になるように」との思いが込められています。公募によって集まった117件の案の中から決定しました。



完成イメージ

※建物以外の外庭部分は令和5年秋に完成予定

特色ある公園の整備を進めています！

公園再生事業や、地域の核となる公園の整備事業では、既設の公園の状況（老朽化など）、周辺環境、地域のニーズなどを踏まえ、特色ある公園の整備を進めています。この整備により、レクリエーションの場の確保、地域環境の改善、防災機能の強化、まちの景観向上などを図ります。

【小菅東スポーツ公園（小菅3-1）】（531,933千円）

令和3年度に引き続き工事を進め、令和4年7月に開園予定です。公園の利用促進を図るとともに地域のニーズに答えた整備を実現するため、バスケットの3×3コート新設やエレベーターの設置によるバリアフリー化、老朽化した施設の改修などを行います。

【新小岩公園（西新小岩1-1）】（74,000千円）

令和3年度は基本計画に基づいた概略設計を行っており、令和4年度は基本設計を実施します。

防災機能強化のため新たに高台ゾーンを設け、地震・風水害・その他大規模災害等の多様な災害に対応した応急活動拠点（水害時等の受援拠点機能）を有する公園にします。

【葛飾あらかわ水辺公園（西新小岩3-35から新小岩1-1地先）】（15,328千円）

令和3年度に策定した基本構想を基に、令和4年度は改修へ向けた基本計画を策定します。

多くの人々が利用したいと思える「魅力的な施設」と、水辺や草花を身近に感じることができる「身近な自然環境」を備えた公園の整備を目指します。



小菅東スポーツ公園整備イメージ



新小岩公園整備イメージ

高台ゾーン